

Ⅱ. 各種委員会

【企画部門】

1. 企画委員会

委員長 小澤 一 雅 副委員長 上 田 多 門
幹事長 岩 波 光 保
副幹事長 清 野 聡 子 副幹事長 山 田 菊 子
ほかに委員、委員兼幹事：19名 委員会：3回 幹事会：7回 WG会議：3回

- 1) 2015年度からの5か年計画JSCE2015を実現するための具体的な方策を検討
- 2) 「JSCE2015重点課題」の適切な実施を進めるため、PDCAマネジメントを各部門と連携を図りながら実施
- 3) 「2017年度の活動結果と2018年度の活動計画」を取りまとめ、学会ホームページで公開
- 4) 土木学会の「見える化」データの公表と「数字で見る土木学会」の作成
- 5) 部門・委員会・支部における「JSCE2015重点課題」と学会活動の見える化の実効的実施や推進を図るため、良い取組み事例への助成
- 6) 「JSCE2020」策定作業の推進と、各部門・支部へのヒアリングを実施
- 7) 社会インフラの健康診断の実施と結果の公表
- 8) 会長特別委員会の活動支援

1-1 技術価値の国際化小委員会

委員長 那 須 清 吾 幹事長 羽 鳥 剛 史
ほかに相談役、委員：9名

- 1) これまでの委員会の活動成果を取りまとめて、学会誌11月号に委員会報告として掲載

1-2 若手パワーアップ小委員会

委員長 片 山 範 孝 幹事長 前 田 裕 一
副幹事長 堺 友 里
ほかに委員：16名 委員会：5回

- 1) 若手土木技術者の学会活動の活性化、学会全体の活動の活性化に資する学会事業の諸策の検討

2. 論説委員会

委員長 石 田 東 生 委員兼幹事長 風 間 聡
ほかに委員、幹事、アドバイザー：30名 委員会：2回 幹事会：2回

- 1) 論説・オピニオンを定期的に発信するために必要な企画の審議
- 2) 論説・オピニオンの執筆、執筆依頼、審議および発信
- 3) 発表した論説・オピニオンの広報、論説・オピニオンの内容を実効有らしめるために必要な関連する業務

3. 社会インフラ健康診断特別委員会

委員長 橋 本 鋼 太 郎 委員長代理 家 田 仁
顧問 磯 部 雅 彦 顧問 廣 瀬 典 昭
幹事長 中 村 光

ほかに委員：16名 幹事：19名 オブザーバー：6名 委員会：1回 幹事会：4回

- 1) 社会インフラの健康診断書の実施と結果の公表

【コミュニケーション部門】

4. 土木広報センター

センター長 依田 照彦

センター次長 岡村 次郎

センター次長 小松 淳

センター次長 島谷 幸宏

ほかにグループ長、オブザーバー等：8名 センター会議：6回 センター長・次長会議：1回

- 1) 土木広報戦略の検討・立案
- 2) 全国大会広報関連企画「ベスト・イノベーター・オブ・土木偉人」(H30.8.29 北海道)を実施
- 3) ニュースリリースの配信ならびに記者会見の運営・協力、ニュースレターの発行
- 4) 「土木の日」広告の掲載(H30.11.18 日刊スポーツ)
- 5) 土木界、土木学会支部や各委員会行事への取材ならびに協力
- 6) 日本橋「街道観光展2018」(H30.11.27～12.16 東京都)およびインフラテック2018(H30.12.6～8 東京都)へ展示協力

4-1 情報集約・発信グループ

グループ長 小松 淳

ほかにグループ員：4名

- 1) 情報収集および情報発信、土木学会Facebookページ運営、学会サイト群運営支援等について実施
- 2) 「中央エフエム」ならびに「渋谷のラジオ」に出演
- 3) 報道機関懇談会(通算52回)の実施
- 4) 土木の語義の提案・普及

4-2 土木リテラシー促進グループ

グループ長 緒方 英樹

ほかにグループ員：6名 委員会：2回 打合せ会：1回

- 1) 「土木とアニメの邂逅 虫プロダクション 伊藤叡さんを偲んで」(H30.6.6 東京都)を開催
- 2) 旅行会社と連携した台湾土木遺産視察(通算6回)の実施
- 3) 土木偉人かるたの普及のため「プレイフルストリート2019 winter」(H31.1.20)へ出展

4-3 市民交流グループ

グループ長 高橋 良和

ほかにグループ員等：7名 委員会：1回

- 1) 土木の日、土木コレクション、どぼくカフェ、オープンキャンパス等の各種イベントの企画と実施
- 2) 「未来の土木コンテスト」現場見学会(H30.8.4 東京外かく環状道路 本線トンネル(北行)東名北工事)を開催
- 3) 「土木の日シンポジウム2018(地域インフラと市民普請～農山村・漁村における市民連携～)」(H30.11.18 東京都)を開催
- 4) 「土木コレクション2018『TOKYO DOBOKU FROM-1964-TO 過去から未来。新しいトウキョウへ。』」(H30.11.20～23 新宿駅西口広場イベントコーナー)を開催
- 5) どぼくカフェ(H30.11.20～23 新宿駅西口広場イベントコーナー)を開催

4-3-1 未来の土木コンテストグループ

グループ長 高橋 良和

4-3-2 市民普請大賞グループ

幹事長 萱場 祐一

副幹事長 真田 純子

ほかに委員会顧問、幹事：7名 委員会：2回

4-3-3 土木コレクショングループ

グループ長 樋口 明彦

ほかに委員会顧問、グループ員、コアメンバー、WG委員等：26名 委員会：10回

4-3-4 どぼくカフェグループ

グループ長 高 橋 良 和

4-3-5 土木の日実行グループ

幹 事 長 真 田 純 子 副 幹 事 長 萱 場 祐 一

副 幹 事 長 永 山 貴 一

ほかに委員会顧問、幹事：5名 委員会：1回

4-3-6 土木の魅力グループ

グループ長 川 上 佐 知

ほかに幹事等：8名 委員会：5回

4-4 インフラ解説グループ

グループ長 島 谷 幸 宏

ほかにグループ員等：6名 委員会：3回

1) インフラ解説動画の質問内容の検討、収録ならびに編集作業

2) 橋梁分野と河川分野の10のトピックをWebへ公開

5. 土木広報戦略会議

委 員 長 浅 見 郁 樹 副 委 員 長 五 道 仁 実

副 委 員 長 佐 々 木 葉 副 委 員 長 西 田 純 二

幹 事 長 岡 村 次 郎 代 表 幹 事 小 松 淳

ほかに委員会顧問、委員、委員兼幹事、オブザーバー：40名 戦略会議：2回 幹事会：5回

1) 土木界が一体となって取り組む広報戦略の検討

2) Webサイト「土木i」の運営ならびに「土木広報大賞」の実施

3) 平成30年度「土木の日」および「くらしと土木の週間」の実施、「土木の日」ロゴマークの普及

6. 土木広報連絡会

委 員 長 浅 見 郁 樹 副 委 員 長 五 道 仁 実

副 委 員 長 佐 々 木 葉 副 委 員 長 西 田 純 二

代 表 幹 事 小 松 淳

ほかに委員、委員兼幹事：22名

1) 土木学会内の各組織、各支部の広報活動の連携

7. 土木学会誌編集委員会

委 員 長 鎌 田 敏 郎 副 委 員 長 中 間 祥 二

幹 事 長 浅 本 晋 吾

ほかに委員および特別委員：50名 オブザーバー2名 委員会：12回

1) 土木学会誌第103巻第4号（2018年4月号）～第104巻第3号（2019年3月号）の月刊12冊の企画・編集・発行の検討

2) 土木学会誌巻末に付録（平成30年度全国大会案内、平成31年度土木学会賞候補の募集、平成30年度全国大会報告、平成31年度全国大会第74回年次学術講演会実施要領）掲載

3) 土木学会誌（年間発行総部数：490,300部、年間発行総頁数：1,064頁）の発行

【国際部門】

8. 国際戦略委員会

委 員 長 須 野 原 豊 幹 事 長 北 直 紀

ほかに委員および顧問：23名

委員会：1回 幹事会：0回

- 1) 「土木学会国際戦略」に基づいた土木学会の国際活動に関する施策・方針の検討
- 2) 全国大会国際関連行事の企画および対応

9. 国際センター

センター長	上 田 多 門	センター長代行兼次長	山 川 朝 生
センター次長	奥 谷 正	センター次長	増 田 達
センター次長	納 多 勝	センター次長	箕 隆 夫
センター次長	山 村 直 史		

幹部および次長会議：4回 協定学協会および海外分会来会対応：4回

- 1) 「土木学会の国際戦略」に基づいた具体的活動の検討、実施
- 2) 国際交流（Ⅲ.本部行事4.および5.）対応
- 3) 産官学の連携を基盤とする海外協力協定締結学協会との交流促進
- 4) 国内関係機関との連携と協働
- 5) 海外分会員、海外在住者および外国人会員サービスの向上、「アソシエイトンバー」の促進
- 6) 全国大会国際関連行事の企画および対応
- 7) 国際センターの主要行事（e.g.「世界で活躍する日本の土木技術者シリーズ」、「技術の国際化セミナー」の企画・運営）
- 8) 第8回アジア土木技術国際会議（2019年4月16-19日於東京）の開催準備

9-1 情報グループ

グループリーダー 伊 東 佑 香

ほかに委員・アドバイザー：19名 幹事会：6回

- 1) 「国際センター通信」（和文・英文）の企画、編集、発行（12回）とメーリングリストによる配信
- 2) 土木学会誌「国際センターだより」の編集
- 3) 英文ホームページ運営（情報更新）
- 4) 英語版 Facebook の運営
- 5) 広報センターとの情報共有と情報発信

9-2 国際交流グループ

グループリーダー 七 條 牧 生

ほかに委員：64名 グループ会議：4回 各国グループ会議：10数回

- 1) 海外協力協定締結学協会年次大会への参加・話題提供と2カ国間ミーティングの開催
- 2) 産官学の連携を基盤とする12の国別グループによる二国間交流活動
- 3) 土木学会海外分会との連携を図り、現地における活動の支援、技術交流の拡充、人的ネットワークの形成
- 4) アソシエイトメンバーの促進

9-3 教育グループ

グループリーダー 納 多 勝

ほかに委員：8名 グループ会議：4回

- 1) 海外活動支援のための各種事業の検討
- 2) 国際センター主催「大学出前講座」、「若手技術者サロン」の企画・実施
- 3) 国際的人材育成についての意見交換

9-4 留学生グループ

グループリーダー 長 井 宏 平

ほかに委員12名 グループ会議：5回

- 1) インターナショナルサマーシンポジウム（若手技術者ワークショップ含）の企画・実施
- 2) 留学生向け企業説明会・現場見学会の企画・実施
- 3) 留学生・卒業生ネットワーク形成支援、アソシエイトメンバーの促進

9-5 プロジェクトグループ

グループリーダー 樋口嘉章

ほかに委員 12 名 グループ会議：3 回

- 1) 「世界で活躍する日本土木技術者シリーズ」講演会の企画・実施
- 2) 「プロジェクトアーカイブ」の企画・実施
- 3) 「技術基準の国際化」シンポジウムの企画・実施

10. 学術交流基金管理委員会

委員長 大島昭彦 幹事長 吉澤哲哉

ほかに委員：8 名 委員会：8 回

- 1) 学術交流基金の助成改革取り纏め
- 2) 平成 31 年度「公益信託土木学会学術交流基金」助成候補者の選考
- 3) スタディーツアーグラント助成の対応
- 4) ジョイントセミナー、ACECC 交流活動、海外拠点形成・活性化事業への助成の対応
- 5) 「公益信託土木学会学術交流基金」運営委員会への協力

11. アジア土木学協会連合協議会担当委員会

委員長 佐藤慎司 副委員長 大西博文

幹事長 井澤淳

ほかに委員、委員会顧問および幹事他：17 名 委員会：3 回 幹事会：3 回

- 1) アジア土木学協会連合協議会（ACECC）の支援と協力体制の検討
- 2) ACECC 第 36 回 ECM（Executive Committee Meeting）会議準備
- 3) 第 8 回アジア土木技術国際会議（CECAR）の開催準備
- 4) ITS、防災に関する各技術委員会（TC）の活動支援
- 5) ACECC 賞選考・運営への支援活動
- 6) ACECC 常設事務局支援
- 7) ACECC 加盟国の増強支援

【教育企画部門】

12. 教育企画・人材育成委員会

委員長 宮里心一 副委員長 白旗弘実

幹事長 皆川浩 副幹事長 鈴木啓悟

ほかに主査理事、担当理事、委員、委員兼幹事、およびオブザーバー：29 名

委員会：2 回

- 1) 年度活動方針の審議・決定
- 2) 各小委員会の活動内容報告、活動方針・活動予算の審議・決定
- 3) JSCE2015 におけるアクションプラン作成および活動自己評価

12-1 大学・大学院教育小委員会

委員長 伊代田岳史 幹事長 吉田亮

ほかに委員：10 名 委員会：1 回

- 1) 学部卒業生と大学院修了生の違いに関するアンケート調査分析

2) 調査およびアンケート分析結果の公表

12-2 高等専門教育小委員会

委員長 神田 佳一 幹事長 目山 直樹

ほかに委員：6名 委員会：2回

- 1) シビルタイムズ第8号の刊行（2018年4月）
- 2) 2017年度土木教育賞の表彰（2019年2月） 5名
- 3) 防災教育に関するアンケート調査の実施

12-3 高校教育小委員会

委員長 渡邊 隆 幹事長 鈴木 良孝

ほかに委員：14名 委員会：1回 メール審議：数回

- 1) 第52回夏期講習会「これから想定される自然災害～土木技術者に突きつけられている課題～」の開催
- 2) 全国高等学校土木教育研究会、西日本高等学校土木教育研究会、東日本高等学校土木教育研究会（土木系学科を有する高等学校の研究会）との連携
- 3) 土木情報学委員会との連携による「CIMに関する出前授業」の実施
- 4) 土木学会誌への寄稿 委員会活動報告

12-4 キッズプロジェクト検討小委員会

委員長 江守 央 幹事長 峯岸 邦夫

副幹事長 上野山 直樹

ほかに委員、幹事、およびオブザーバー：14名 委員会：1回

- 1) 小中学校における学習（教科）支援の蓄積と教材づくりの検討と実施
- 2) 出前授業経験者の発掘調査

12-5 成熟したシビルエンジニア活性化小委員会

委員長 加藤 隆 幹事長 荒谷 太郎

ほかに委員、委員兼幹事：12名 委員会：7回

- 1) 成熟したシビルエンジニアの活動実態を把握するためのアンケート調査結果の分析
- 2) 退職後も生き生きと活動しているシニア技術者へのインタビュー実施及びその記事の公開

12-6 「土木と学校教育会議」検討小委員会

委員長 藤井 聡 幹事長 中村 俊之

ほかに委員兼幹事：12名 委員会：1回 メール審議：数回

- 1) 第10回土木と学校教育フォーラム「まちづくりを通して、子供は何を学ぶのか」の開催
- 2) 第11回土木と学校教育フォーラムの企画

12-7 土木技術者の質保証調査小委員会

委員長 木村 定雄 幹事長 鷺見 浩一

ほかに委員：11名 委員会：0回 メール審議：数回 WG会議：1回

- 1) 土木技術者として備えるべき知識・能力体系について整理
- 2) 学協会における大学・大学院教育の分野別質保証の取り組み状況について整理

12-8 行動する技術者たち小委員会

委員長 渡邊 一成 幹事長 森島 仁

ほかに顧問、委員：15名 委員会：0回 インタビュー取材：3回 メール審議：10回程度

- 1) 行動する技術者たちへの取材・紹介活動
- 2) 土木技術者に求められる資質についての啓発活動

12-9 シビル NPO 推進小委員会

委員長 田 中 努 副委員長 皆 川 勝
副委員長 矢 代 晴 実 幹 事 長 柴 田 勝 史

ほかに委員 11 名 委員会：9 回 WG 会議：4 回

今年度は、小委員会委員が手分けして WG に参加し、2 つの WG の活動を強化した。

- 1) CNCP と土木学会の連携の推進
- 2) 道路などインフラ管理における NPO 活動に関する調査・研究
- 3) 防災・減災分野における NPO 活動の実態調査および活動の推進に必要な考え方や方策などの検討

12-10 教育論文集編集部会

委員長 神 谷 大 介 幹 事 長 白 旗 弘 実

ほかに委員、幹事：7 名 委員会：1 回 メール審議：数回

- 1) 教育企画・人材育成委員会と土木学会論文集 H 分冊編集小委員会との連絡および調整

13. ダイバーシティ推進委員会

委員長 佐々木 葉 副委員長 須 田 久美子
幹 事 長 米 山 賢

ほかに委員、幹事：15 名 委員会：1 回 WG 会議：2 回 メール審議：15 回以上

- 1) 「ダイバーシティ&インクルージョン (D&I) 行動宣言」の推進を題材とした研究討論会開催、方策検討、講演、寄稿
- 2) 土木学会 D&I ウィーク「ダイバーシティ&インクルージョンを考える 1 週間」の開催
- 3) D&I フォーラム「多様性が生産性を高めるー土木界の働き方改革」の開催
- 4) 土木界におけるダイバーシティ推進に関する情報の収集と発信
- 5) 男女共同参画学協会連絡会との連携活動
- 6) 書籍「継続は力なりー女性土木技術者のためのキャリアガイド」の販売促進活動
- 7) 女性委員等の登用支援

13-1 坑内労働検討 WG

リーダー 須 田 久美子 ほかにメンバー 2 名 WG 会議：4 回（厚生労働省との打ち合わせを含む）
メールによる打ち合わせ：10 回以上

- 1) 女性技能労働者の坑内労働規制緩和についての検討

【社会支援部門】

14. 災害緊急調査団派遣等

14-1 大阪府北部の地震に関する調査

14-2 西日本豪雨災害調査

14-3 台風 21 号沿岸災害調査

14-4 北海道胆振東部地震災害調査

14-5 インドネシア・スラウェシ島地震被害調査

15. 司法支援特別委員会

委員長 堀 智 晴 幹 事 長 副 島 紀 代

ほかに委員、幹事：9 名 委員会 1 回

- 1) 最高裁判所の要請に基づいて、土木関連分野民事訴訟における専門委員の推薦を実施。

16. 減災・防災委員会

委員長 岡 安 章 夫
副委員長 佐 藤 慎 司 堀 智 晴 小 林 稔
幹事長 塚 原 健 一 副幹事長 中 村 光

ほかに委員：16名 委員会2回

- 1) 安全かつ自律的で持続的な自然災害に強いしなやかな国土の創出に関連する問題の研究、調査
- 2) 研究、調査成果の社会実装のための、国及び地方の行政機関並びに市民団体、地域社会と連携した活動
- 3) 安全かつ自律的で持続的な自然災害に強いしなやかな国土の創出に関連する国内および国外の学協会関係機関との研究連絡
- 4) 発災時での学会内および関連機関との連携組織の構築と維持・運営

16-1 緊急対応マシメント小委員会

委員長 松 田 泰 治

ほかに委員：6名 委員会：1回

- 1) 災害派遣に関する手順や基本ルール of 整理

16-2 減災社会システム構築小委員会

委員長 奥 村 誠

ほかに委員：20名 委員会：1回

【調査研究部門】

17. 研究企画委員会

委員長 京 谷 孝 史

幹事長 加 藤 佳 孝

ほかに委員：8名 委員兼幹事：2名 委員会：6回

- 1) 平成30年度委員会活動度の評価
- 2) 平成31年度 重点研究課題（研究助成金）の募集および審査
- 3) 委員会活動度評価要領の見直しに伴う関係要領の改正

18. コンクリート委員会

委員長 前 川 宏 一 幹事長 小 林 孝 一

ほかに顧問：4名 常任委員：40名 委員：22名 常任委員兼幹事：5名

委員会：1回 常任委員会：6回 幹事会：6回 第3種小委員会連絡会議：1回

- 1) コンクリートに関する調査研究を実施
- 2) コンクリート関係の小委員会及び受注の調査研究を実施
- 3) コンクリート標準示方書改訂作業を実施

18-1 示方書改訂小委員会

委員長 宮 川 豊 章 副委員長 二 羽 淳一郎

幹事長 下 村 匠

ほかに委員：39名 委員会：1回

- 1) コンクリート標準示方書改訂について検討し、[維持管理編]を刊行する

18-1-1 運営部会

主 査 宮 川 豊 章 副主査 二 羽 淳一郎

幹事長 下 村 匠

ほかに委員および幹事：16名 部会：1回

18-1-2 維持管理編部会

主 査 河 合 研 至 副 主 査 小 林 孝 一

ほかに委員および幹事：36名 部会：3回 WG会議：10回

18-2 規準関連小委員会

委 員 長 久 田 真 幹 事 長 横 関 康 祐

ほかに委員および幹事：32名 委員会：3回 WG会議：2回

- 1) 土木学会規準の制定および見直しを行うとともに、コンクリート関連の JIS 規格の制定および見直しの情報を収集し、コンクリート標準示方書「規準編」の改訂について検討し、刊行する
- 2) 規準関連ホームページの充実のための作業を実施
- 3) JIS の改正に伴う意見照会などへの対応

18-3 コンクリート教育研究小委員会

委 員 長 田 中 敏 嗣 幹 事 長 山 路 徹

ほかに委員および幹事：14名 委員会：5回

- 1) コンクリートに関する学校・社会での教育のあり方についての検討や、教育教材の作成

18-4 土木材料実験指導書編集小委員会（出版部門）

委 員 長 上 野 敦 幹 事 吉 田 亮

ほかに委員および幹事：9名 委員会：1回

18-5 国際関連小委員会

委 員 長 濱 田 秀 則 幹 事 長 大 島 義 信

ほかに委員および幹事：13名 委員会：3回

- 1) 活動成果の国際展開や海外学会との連携（ワークショップ等）に関する事項についての検討・実施
- 2) NEWS LETTER を発刊・発信（国内外合わせて約 2,300 件に年 4 回発信）

18-6 コンクリート標準示方書に基づく数値解析認証小委員会

委 員 長 齊 藤 成 彦 幹 事 長 牧 剛 史

ほかに委員：7名

18-7 電気化学的防食工法設計施工指針改訂小委員会（受注）

委 員 長 武 若 耕 司 副 委 員 長 濱 田 秀 則

幹 事 長 山 口 明 伸

ほかに委員および幹事：52名 委員会：2回

- 1) 電気化学的防食工法設計施工指針（改訂版）を作成する

18-8 プレキャストコンクリート工法の設計施工・維持管理に関する研究小委員会（受注）

委 員 長 渡 辺 博 志 副 委 員 長 睦 好 宏 史

幹 事 長 綾 野 克 紀

ほかに委員および幹事：63名 委員会：1回

- 1) プレキャストコンクリート工法の設計施工指針（案）を作成する

18-9 鉄筋定着・継手指針改訂小委員会（受注）

委 員 長 久 田 真 幹 事 長 玉 井 真 一

ほかに委員および幹事：53名 委員会：3回

- 1) 鉄筋定着・継手指針（改訂版）を作成する

18-10 石炭灰混合材料の利用拡大に向けた設計施工指針小委員会（受注）

委 員 長 久 田 真 副 委 員 長 佐 藤 研 一

幹 事 長 石 田 哲 也

ほかに委員および幹事：38名 委員会：2回

- 1) 石炭灰混合材料に関する設計施工指針（案）を作成する

18-11 SIP 対応高炉スラグ細骨材を用いたプレキャストコンクリート部材に関する研究委員会（受注）

委員長 河野 広 隆 幹事長 上 野 敦

ほかに委員および幹事：51名 委員会：1回

- 1) 高炉スラグ細骨材コンクリートを用いたプレキャスト部材に関する設計施工指針（案）を作成する

18-12 混和材を大量に使用したコンクリート構造物の設計・施工研究小委員会（受注）

委員長 石 田 哲 也 副委員長 渡 辺 博 志

幹事長 小 林 孝 一

ほかに委員および幹事：33名 委員会：1回

- 1) 混和材を大量に使用したコンクリート構造物の設計・施工指針を刊行する

18-13 高炉スラグ微粉末を用いたコンクリートの施工指針改訂小委員会（受注）

委員長 坂 井 悦 郎 副委員長 渡 辺 博 志

幹事長 伊代田 岳 史

ほかに委員および幹事：44名 委員会：2回

- 1) 高炉スラグ微粉末を用いたコンクリートの施工指針の改訂に向けた調査研究を行い、改訂された設計・施工指針を刊行する

18-14 亜鉛めっき鉄筋指針改訂小委員会（受注）

委員長 武 若 耕 司 副委員長 濱 田 秀 則

幹事長 佐 藤 靖 彦

ほかに委員および幹事：42名 委員会：1回

- 1) 新たな知見並びに構造物の耐久性照査を導入した「亜鉛めっき鉄筋を用いる鉄筋コンクリートの設計施工指針（改訂版）」を策定

18-15 セメント系構築物と周辺地盤の化学的相互作用研究小委員会

委員長 半 井 健一郎 幹事長 高 橋 佑 弥

ほかに委員および幹事：30名 委員会：2回 WG 会議：2回

- 1) 研究対象を WG1（固化・不溶化）と WG2（化学的侵食・溶脱）の 2 つに集約したうえで、それぞれの現象理解をさらに深めるとともに、評価手法の構築や高度化，材料開発の方向性を検討

18-16 繊維補強コンクリートの構造利用研究小委員会

委員長 内 田 裕 市 幹事長 国 枝 稔

ほかに委員及び幹事：33名 委員会：4回 WG 会議：6回

- 1) 前期でとりまとめた成果を基に、FRCC を用いた構造物の設計法の確立する

18-17 塩害環境の定量評価に関する研究小委員会

委員長 佐 伯 竜 彦 幹事長 富 山 潤

ほかに委員：29名 委員会：3回

- 1) 前期でとりまとめた塩害環境評価のあるべき姿の実現のための基盤作り

18-18 コンクリート構造物の品質確保小委員会

委員長 田 村 隆 弘 幹事長 細 田 暁

ほかに委員およびオブザーバー：59名 委員会：1回

- 1) 実構造物の品質確保を実現するために有効なノウハウを現場から情報収集し体系化する

18-19 コンクリート構造物の設計と連成型性能評価法に関する研究小委員会

委員長 牧 剛 史 幹事長 土 屋 智 史

ほかに委員および幹事：36名 委員会：4回 幹事会：1回 WG会議：8回

1) 非線形有限要素解析などの精緻な手法の確立や、より容易に適用可能な簡易な評価法の構築を検討

18-20 コンクリートの性能に及ぼす高温作用の影響評価研究小委員会

委員長 浅本 晋吾 副委員長 蔵 重 勲

幹事長 岡崎 慎一郎

ほかに顧問、委員および幹事：30名 委員会：5回

1) 高温作用がコンクリートのマクロで物理的な物性変化に与える影響とミクロで化学的な物性変化に与える影響に着目し、実態を把握しつつ課題を抽出する

18-21 混和材料を使用したコンクリートの物性評価技術と性能規定型材料設計に関する研究小委員会

委員長 梅村 靖弘 幹事長 入江 正明

ほかに顧問、委員および幹事：63名 委員会：2回 幹事会：1回 WG会議：5回

1) 構造設計において、コンクリート構造物の要求性能の一つである劣化抵抗性を適切に反映するため、材料物性評価を取り入れたシステムの構築を行う

18-22 高炉スラグ細骨材を用いたコンクリートに関する研究小委員会

委員長 綾野 克紀 幹事長 佐川 康貴

ほかに委員および幹事：37名 委員会：1回 WG会議：2回

1) 高炉スラグ細骨材の可能性を探り、工場製品の高耐久なコンクリートを製造するための方法について検討する

18-23 既設コンクリート構造物の構造性能評価研究小委員会

委員長 佐藤 靖彦 幹事長 山本 佳士

ほかに委員および幹事：19名 委員会：3回

1) 塩害・ASR・凍害・それらの複合により劣化した既設コンクリート構造の、上記3つの評価法に基づいた構造性能評価手法を具体化することを目的とした調査・研究を行う

18-24 コンクリート構造物の養生効果の定量的評価と各種養生技術に関する研究小委員会

委員長 細田 暁 幹事長 渡邊 賢三

ほかに委員および幹事：36名 委員会：1回

1) コンクリート構造物の品質向上技術の有効な手段である養生に着目し、調査、研究を行う

18-25 コンクリート構造物の養生効果の定量的評価と各種養生技術に関する研究小委員会

委員長 細田 暁 幹事長 渡邊 賢三

ほかに委員および幹事：36名 委員会：1回

1) コンクリート構造物の品質向上技術の有効な手段である養生に着目し、調査、研究を行う

18-26 部材詳細の設計と照査に関する研究小委員会

委員長 中村 光 副委員長 牧 剛史

幹事長 渡辺 健

ほかに委員および幹事：30名 委員会：3回

1) 部材詳細に関する知見や技術の系統的な整理をするとともに、構造細目、母材形状、高機能材料の利用に関して検討する

18-27 締固めを必要とする高流動コンクリートの配合設計・施工技術研究小委員会

委員長 加藤 佳孝 幹事長 橋本 紳一郎

ほかに委員および幹事：46名 委員会：3回

1) 締固めを必要とする高流動コンクリートの配合設計および施工方法に関して調査、研究を行う

19. 水工学委員会

委員長 清水 康 行

幹事長 竹 林 洋 史

ほかに顧問、委員および幹事：53名 委員会：2回 幹事会：2回

- 1) 水工学に関する調査研究を実施
- 2) 研究小委員会・部会において調査研究活動、研究集会、シンポジウムを開催
- 3) 「第23回水シンポジウム2018（H30.8.23～8.24 沼津市）」を開催
- 4) 「第54回水工学に関する夏期研修会（H30.9.10～9.11 山口）」を開催し、講義集を編集・発刊
- 5) 「第64回水工学講演会（H30.11.25～26 札幌市）」を開催し、水工学論文集（CD-ROM）を編集・発刊
- 6) 第31回アゲール（AGEHR）シンポジウム、河川災害シンポジウム（H30.11.25 札幌市）を開催

19-1 水文部会

部会長 大 石 哲 副部会長 鼎 信 次 郎

ほかに委員：30名 部会：2回

- 1) ワーキンググループによる調査研究を実施

19-2 基礎水理部会

部会長 木 村 一 郎 副部会長 杉 原 裕 司

ほかに委員：27名 幹事兼委員：1名 部会：2回

- 1) ワーキンググループによる調査研究を実施
- 2) 「基礎水理シンポジウム」（H30.12.14 東京都）
- 3) 水理計算フリーソフトウェアの普及活動

19-3 環境水理部会

部会長 矢 島 啓 副部会長 矢 野 真 一 郎

ほかに委員：25名 幹事：2名 部会：2回

- 1) ワーキンググループによる調査研究を実施
- 2) 「環境水理部会研究集会2018 in 北見」（H30.7.5～6 北見市）

19-4 河川部会

部会長 渡 邊 明 英

副部会長 諏 訪 義 雄 、 田 村 浩 敏 、 内 田 龍 彦

ほかに委員：28名 幹事：1名 部会：3回

- 1) ワーキンググループによる調査研究を実施
- 2) 河川技術に関するシンポジウム（H30.6.12～13 東京都）を開催し、河川技術論文集を編集・発刊
- 3) 「2018年河川技術に関するシンポジウム優秀発表者賞」の選考・授与

19-5 水工学論文集編集小委員会

委員長 清水 康 行

幹事長 竹 林 洋 史 編集幹事長 宮 本 仁 志

ほかに委員および幹事：69名 小委員会：2回 幹事会：2回

- 1) 『水工学論文集第63巻』応募論文の採否決定と編集、作成
- 2) 「平成30年度水工学論文賞」の選考と授与
- 3) 「平成30年度水工学論文奨励賞」の選考と授与
- 4) 「第63回水工学講演会 Best International Paper Award」の選考と授与

19-7 ISO/TC113 小委員会

委員長 堀 田 哲 夫

ほかに委員ほか：19名 メールにて審議

- 1) ISO（国際標準化機構）／TC113（開水路の流量測定に関する技術委員会）の国内審議団体業務
- 2) 水文データ伝送システムに関する国際規格策定のための活動
- 3) その他 ISO/TC113 に関する活動

19-8 流量観測技術高度化研究小委員会

委員長 藤田 一郎

ほかに委員：16名 メールにて審議

- 1) 流量計速法に関する技術論文集の提案・企画
- 2) ISO/TC113（開水路流量計測）への対応検討
- 3) 融雪出水時の現地共同流量計測の実施
- 4) 流量観測ワークショップ 2018（H30.4.18～21 新潟県）

19-9 沿岸環境関連学会連絡協議会（沿環連）対応WG

主査 二瓶 泰雄 副主査 横山 勝英

ほかに委員：6名

- 1) 沿岸環境系関連学会ならび海岸工学委員会との連携、対応
- 2) 沿環連ワークショップの企画・開催

19-10 河川懇談会

座長 辻本 哲郎

ほかに委員：11名 委員会：1回

- 1) 河川行政と河川工学についての課題、研究を実施

19-11 流域管理と地域計画の連携方策研究小委員会

座長 小池 俊雄 幹事長 立川 康人

ほかに委員：10名 小委員会：1回

- 1) 河川行政と流域管理と地域計画の連携方策についての課題、研究を実施
- 2) 国土交通省水管理・国土保全局における意見交換会を開催。

19-12 水理公式集編集小委員会（出版部門）

委員長 辻本 哲郎 幹事長 清水 義彦

ほかに委員および幹事：19名

- 1) 水理公式集の編集。

19-14 水害対策小委員会

委員長 風間 聡 幹事長 赤松 良久

ほかに委員、幹事、オブザーバー：37名 小委員会：2回

- 1) 小委員会 Facebook で随時情報発信
- 2) 西日本豪雨災害調査団を結成し、現地調査、調査結果速報会を実施

19-15 グローカル気候変動適応研究推進小委員会

委員長 矢野 真一郎 幹事長 小林 健一郎

ほかに委員、幹事：32名 小委員会：2回 幹事会：1回

- 1) ワーキンググループによる調査研究を実施

20. 構造工学委員会

委員長 中村 光 副委員長 岩城 一郎 勝地 弘

ほかに委員兼幹事および委員：52名 委員会：2回

- 1) 構造工学に関する調査研究を実施

- 2) 構造工学論文集 Vol. 64A、を編集作成し、Vol. 65A を編集準備
- 3) 「第 64 回構造工学シンポジウム」を共催
- 4) 日本学術会議関連研究連絡委員会（構造工学等）に協力
- 5) 構造工学関係小委員会および委託研究委員会の調査研究を促進
- 6) ISO 等国際標準機構の構造工学関連規定の検討に対応
- 7) 構造工学関連技術者資格および継続教育プログラムの開発に対応
- 8) 全国大会研究討論会「構造設計における目標安全性水準の設定」を実施
- 9) 構造工学セミナーを実施

20-1 運営小委員会

委員長 中村 聖三 副委員長 秋山 充良
ほかに委員：14 名 委員会：5 回

- 1) 委員会、各小委員会等の運営、活動方針につき審議、検討を実施
- 2) 各小委員会（研究・連絡・出版関係）の今後の運営等につき検討

20-2 継続教育小委員会

委員長 中村 一史 幹事 木暮 雄一
ほかに委員：7 名 委員会：4 回

- 1) 継続教育プログラム(コンテンツ)の審議、立案

20-3 国際教育小委員会

委員長 松村 政秀 幹事長 三木 朋広
ほかに委員および幹事：1 名 委員会：メールにて審議

20-4 次世代教育小委員会

委員長 永田 和寿 幹事長 松村 政秀
ほかに委員：3 名 委員会：メールにて審議

20-5 構造工学論文集編集小委員会

委員長 北原 武嗣 幹事長 松崎 裕
ほかに委員および幹事：18 名 委員会：3 回 幹事会：4 回

- 1) 構造工学論文集 Vol. 64A の審査、査読を実施
- 2) 「第 64 回構造工学シンポジウム」共催に協力し、第 65 回構造工学シンポジウムの開催について検討

20-6 橋梁年報編集小委員会

委員長 中藤 誠二
ほかに委員。幹事およびオブザーバー：15 名 小委員会：1 回

- 1) 「橋 Bridges in Japan」の編集、刊行

20-7 構造実験指導書編集小委員会（出版部門）

委員長 鬼頭 宏明
ほかに委員および幹事：9 名 委員会：メールにて審議

- 1) 「構造実験のてびき 2009 年版」のアフターケア

20-8 構造物安全性連絡小委員会

委員長 佐藤 尚次
ほかに委員および幹事：14 名 委員会：メールにて審議

- 1) 関連国際会議等の広報、ISO 設計関連・包括設計コード等の情報交換、新規研究委員会の企画の調整

20-9 耐風工学連絡小委員会

委員長 八木 知己

ほかに委員および幹事：33名 委員会：1回

1) 「第25回風工学シンポジウム」の開催に協力

2) 橋梁の耐風設計における数値流体解析の適用に関する検討小委員会と連携

20-10 鉄道工学連絡小委員会

委員長 阿部和久 副委員長 古川敦

幹事長 久保崇紀

ほかに委員および幹事：27名 委員会：3回

1) 鉄道工学に関する調査研究の推進

2) 「第22回鉄道力学シンポジウム」を開催（H30.7.10～11：東京都）

20-11 設計基準体系における安全性照査ガイドライン研究小委員会

委員長 佐藤尚次 副委員長 吉田郁政

ほかに委員および幹事：13名 委員会：3回

1) 目標安全性水準の設定について検討

20-12 メンテナンス技術者のための教本開発研究小委員会

委員長 岩城一郎 副委員長 麻生稔彦

幹事長 大竹雄

ほかに委員および幹事：13名 委員会：2回

1) 維持管理の視点から構造工学の基本について修得できる教本の作成について検討

20-13 数値解析による道路橋床版の構造検討小委員会

委員長 藤山知加子 幹事長 浅野洋平

ほかに委員および幹事：15名 委員会：2回

1) 道路橋床版の数値解析によるシミュレーションの実施と結果の評価

20-14 橋梁の耐風設計における数値流体解析の適用に関する検討小委員会

委員長 八木知己 幹事長 伊藤靖晃

ほかに委員：20名 委員会：1回

1) 橋梁の耐風設計における数値流体解析の利用に関する既往文献の調査

2) 風洞実験結果との比較による数値流体解析結果の精度検証

3) 数値流体解析手法と解析条件の検討

20-15 橋梁予備設計の適正化に関する研究小委員会

委員長 久保田善明 副委員長 松村政秀

幹事長 小松純

ほかに委員および幹事：13名

1) 予備設計における新示方書への対応の検討

2) 定性評価の手法と全体検討プロセスへの組み込みに関する検討

3) あるべき予備設計手法の提案

20-16 構造物の評価指標に関する研究小委員会

委員長 中村光 副委員長 本間淳史

幹事長 佐藤靖彦

ほかに委員および幹事：13名 委員会：1回

1) 構造物を評価するための新たな指標を定義

2) 新たな指標をコストなど同一項目で整理するための基礎資料の収集

3) LCC算出方法の整理、高機能構造物を設計できるような考え方の整理

20-17 示方書連絡会議

委員長 宮川 豊章 幹事長 中村 光

ほかに委員および幹事：25名 連絡会議：2回、WG：6回

- 1) 示方書共通化WGと設計の基本WGの2つのWG活動

21. 鋼構造委員会

委員長 舘石 和雄 副委員長 川畑 篤敬

幹事長 塩竈 裕三

ほかに顧問、委員および委員兼幹事：83名 委員会：2回 幹事会：4回

- 1) 鋼構造に関する調査研究を小委員会により実施
- 2) 「第21回鋼構造と橋に関するシンポジウム」(H30.8.3 東京都 H30.8.6 大阪府)を開催
- 3) 「第6回鋼構造技術継承講演会～経験豊富な先人に学ぶ次世代への承継技術～」(H30.12.17 東京都)を開催

21-1 鋼構造継続教育推進小委員会

委員長 勝地 弘 幹事長 小藤 輝正

ほかに委員および連絡幹事：12名 委員会：3回

- 1) 第35回鋼構造基礎講座「鋼橋の維持管理」－新技術を活用したインフラマネジメント－(H30.10.19 東京都)を開催
- 2) 第36回鋼構造基礎講座「鋼橋の設計」－鋼橋の設計がどのように変わっていくかを詳しく解説－(H30.11.27 東京都)を開催

21-2 鋼・合成構造標準示方書総括小委員会

委員長 奥井 義昭 幹事長 判治 剛

ほかに委員および幹事：41名 委員会：2回

- 1) 最新の研究成果を取り入れた、国際的に通用する標準示方書(鋼・合成構造標準示方書)の制定および改訂

21-3 海外交流小委員会

委員長 本間 宏二

ほかに委員および連絡幹事：5名

- 1) 国際交流を通じて海外の鋼構造技術を収集

21-4 鋼橋の性能照査型維持管理とモニタリングに関する調査研究小委員会

委員長 長山 智則 幹事長 宮下 剛

ほかに委員および連絡幹事：36名

- 1) 性能照査型維持管理法に関する調査
- 2) 荷重S,抵抗Rに関する調査報告書の作成

21-5 鋼構造物の防食性能の回復に関する調査研究小委員会

委員長 貝沼 重信 幹事長 内田 大介

ほかに委員および連絡幹事：50名

- 1) 鋼構造物の防食性能を回復する際の参考資料(施工方法等の提案も含む)の作成

21-6 既設鋼構造物の性能評価と回復のための構造解析技術に関する小委員会

委員長 岩崎 英治 幹事長 山沢 哲也

ほかに委員および連絡幹事：21名 委員会：2回

- 1) 既設鋼構造物の維持管理(性能評価・対策)に資する構造解析技術に関する参考資料の作成

21-7 歴史的鋼橋のデータの更新・活用に関する調査小委員会

委員長 中村 一史 幹事長 神田 恭太郎

ほかに委員および連絡幹事：10名 委員会：4回

- 1) データベースへの追加項目、公開方法、活用方法に関する検討・審議
- 2) WG 活動に関する検討・審議

21-8 鋼構造のインターフェースストラクチャの有限要素モデル化に関する調査研究小委員会

委員長 齊 木 功 幹事長 石 井 博 典

ほかに委員および連絡幹事：14 名 委員会：2 回

- 1) 挙動が複雑な鋼構造のインターフェースストラクチャのモデル化方法を解析種別（弾性解析、弾塑性解析）ごとにまとめる

21-9 鋼道路橋 RC 床版を更新する施工技術に関する小委員会

委員長 並 川 賢 治 幹事長 齊 藤 史 朗

ほかに委員および連絡幹事：27 名 委員会：3 回

- 1) 鋼道路橋 RC 床版を更新する際の施工に関する参考資料の作成

21-10 レーザーによる鋼構造物表面の素地調整技術小委員会

委員長 藤 井 堅 幹事長 北 根 安 雄

ほかに委員および連絡幹事：22 名 委員会：2 回

- 1) 過去における素地調整の実態調査と問題点の抽出
- 2) レーザーによる素地調整（レーザーケレン）の能力、品質、施工性、安全性の検討
- 3) レーザーケレンの実務への適用および品質管理における課題の抽出とマニュアル案の提案

21-11 鋼橋の騒音・振動低減に向けた設計検討小委員会

委員長 池 田 学 幹事長 松 本 泰 尚

ほかに委員および連絡幹事：11 名 委員会：3 回

- 1) 鋼橋の振動・騒音のメカニズムの整理
- 2) 鋼橋の振動・騒音の評価法の検討
- 3) 各種振動・騒音対策技術の低減効果の整理と評価法の検討

21-12 道路橋床版の点検診断の高度化と長寿命化技術に関する小委員会

委員長 橋 吉 宏 副委員長 東 山 浩 士

幹事長 塩 永 亮 介

ほかに顧問、委員および委員兼幹事：59 名 委員会：2 回

- 1) 床版評価（点検診断の高度化、効率化）を対象にした調査研究
- 2) 長寿命化技術（床版防水、橋面舗装、部分補修、新材料・新工法）を対象にした調査研究
- 3) 「第 10 回道路橋床版シンポジウム」（2018. 11. 1-2 東京都）を開催

21-13 高力ボルト摩擦接合の設計およびそれを用いた鋼部材の補修・補強に関する調査研究小委員会

委員長 山 口 隆 司 幹事長 小笠原 照 夫

ほかに委員および連絡幹事：25 名 委員会：3 回

- 1) 高力ボルト摩擦接合継手および当て板の限界状態とその照査法に関する検討
- 2) 高力ボルト摩擦接合継手および当て板による補修・補強の現状および事例の整理
- 3) 高力ボルト摩擦接合を用いた補修・補強に関する設計・施工・維持管理ガイドライン作成

21-14 鋼構造における鋼材性能の活用に関する調査研究小委員会

委員長 中 村 聖 三 幹事長 高 木 優 任

ほかに委員および連絡幹事：18 名 委員会：4 回

- 1) 鋼材特性を活かした鋼構造物の事例収集および鋼材性能の活用方法に関する検討

21-15 鋼・合成構造標準示方書総則・設計編小委員会

委員長 村 越 潤 幹事長 野 阪 克 義

ほかに委員および委員兼幹事：38名 委員会：2回

- 1) 鋼・合成構造標準示方書総則・設計編の改訂作業

21-16 鋼・合成構造標準示方書耐震設計編小委員会

委員長 後藤芳顯 幹事長 葛漢彬

ほかに委員および幹事：14名

- 1) 鋼・合成構造標準示方書耐震設計編の改訂作業および発刊
- 2) 「鋼・合成構造標準示方書 耐震設計編」講習会の開催(H30.10.10 東京都)

21-17 鋼・合成構造標準示方書施工編小委員会

委員長 山口隆司

ほかに委員および幹事：8名

- 1) 鋼・合成構造標準示方書施工編の改訂作業および発刊
- 2) 「鋼・合成構造標準示方書 施工編」講習会の開催(H31.1.15 東京都)

21-18 鋼・合成構造標準示方書維持管理編小委員会

委員長 舘石和雄

ほかに委員および幹事：14名 委員会：4回

- 1) 鋼・合成構造標準示方書維持管理編の改訂作業

21-19 鋼構造物の時間軸を考慮した照査法に関する調査研究小委員会

委員長 北根安雄 幹事長 刑部清次

ほかに委員および連絡幹事：10名 委員会：3回

- 1) 鋼構造物の維持管理等における時間軸考慮の実態把握

22. 海岸工学委員会

委員長 岡安章夫 副委員長 後藤仁志

幹事長 田島芳満

ほかに相談役、委員および幹事：51名 委員会：2回 幹事会：2回

- 1) 海岸工学に関する調査研究、海岸施設の利用者の安全性に関する調査研究を実施
- 2) 「第54回水工学に関する夏期研修会(H30.9.10～11 山口市)」を開催し、講義集を編集・発刊
- 3) 「第65回海岸工学講演会」(H30.11.14～16 鳥取市)を開催し、海岸工学論文集第65巻を編集
- 4) 海岸工学講演会と並行して「前日シンポジウム」および「見学会」を現地で開催
- 5) 「日本海洋工学会」および「沿岸環境関連学会連絡協議会」との協力、連携
- 6) 「海洋開発委員会」、「水工学委員会」、「地球環境委員会」、「土木計画学研究委員会」等の他委員会との連携

22-1 海岸工学論文集編集小委員会

委員長 森信人 副委員長 山城賢

ほかに委員：41名 委員会：1回

- 1) 『海岸工学論文集第65巻』の編集
- 2) 電子受付および査読での対応および編集体制の検討
- 3) 電子ジャーナル化の実施(J-stageへの登録)

22-2 Coastal Engineering Journal 編集小委員会

委員長 渡部靖憲 副委員長 越村俊一

ほかに委員：13名 委員会：1回

- 1) 『Coastal Engineering Journal』のエディタの選任、応募論文の査読、編集作業を実施

22-3 沿岸域研究連携推進小委員会

委員長 重松孝昌 副委員長 日向博文
ほかに顧問、委員：32名 委員会：1回

- 1) 沿岸域研究連携推進についての調査・研究

22-4 広報・出版小委員会

委員長 川崎浩司 副委員長 荒木進歩
ほかに顧問、委員：10名 委員会：1回

- 1) 広報に関わる技術的業務、広報全般に関わる提案、検討、調整を担当
- 2) 海岸工学講演会の討議集をオンラインで受付

22-5 津波作用に関する研究レビューおよび活用研究小委員会

委員長 高橋智幸 副委員長 越村俊一
幹事長 原田賢治

ほかにWG主査、委員、アドバイザー：50名 委員会：2回

- 1) 既存データを体系的に整理し、多くの研究者や実務者が有効活用できる基礎資料を取得

22-6 波動モデル研究小委員会

委員長 柿沼太郎 副委員長 中山恵介
ほかに委員：11名

- 1) 深海域から浅海域、遡上域に至る波動の様々な様相を表現する数値モデルを構築
- 2) 精度を明確に評価可能な数値解析モデルを開発

22-7 水理模型実験における地盤材料の取扱方法に関する研究小委員会

委員長 有川太郎 副委員長 小竹康夫
ほかに委員：21名 委員会：5回

- 1) 水理学分野および地盤工学分野における既往研究における地盤材料の取り扱いをレビュー
- 2) 両分野で用いる相似則の整合性や、実験結果を現地換算する際の留意点を整理
- 3) 水理模型実験における地盤材料の取り扱い方法について一定の方向性を示す

22-8 地域研究活性化小委員会

委員長 青木伸一
ほかに委員：55名 委員会：1回

- 1) 海岸工学に関係する研究者等の地域でのネットワークづくり
- 2) 地域の諸問題に関する共同研究を奨励・支援し、研究成果の情報交換の場を提供
- 3) 5つのWGに分かれ活動

22-9 減災アセスメント小委員会

委員長 岡安章夫 多々納裕一
ほかに委員および幹事：14名 委員会：3回

- 1) 今後巨大地震の発生が想定される地域の津波に対する被害軽減（減災）に関して、「粘り強い構造」の堤防の設計概念をはじめとして、社会的公平性や経済的効率性、リスク管理等の観点から、実効的な対策を総合的に検討
- 2) 減災アセスメントは自然災害一般に関わる広い概念であり、海岸工学委員会と土木計画学研究委員会が共同で設置

22-10 沿岸域の気候変動影響評価・適応検討に関する小委員会

委員長 武若聡 副委員長 森信人
ほかに委員および幹事：23名 委員会：2回

23. 地震工学委員会

委員長 澤田 純男 副委員長 目黒 公郎
幹事長 吉見 雅行

ほかに顧問 51 名、委員および幹事：120 名 委員総会：3 回 研究会：4 回 運営幹事会：7 回
他にメールにて審議

- 1) 地震工学に関する調査研究を実施
- 2) 地震工学に係る小委員会（共通小委員会 5、研究小委員会：13）において調査研究を実施
- 3) 北海道地震等、その他国内外の地震被災地の現地調査と関連報告会の開催（8、9、10、12 月の計 4 回）
- 4) 地震工学委員会研究会の開催（5、9、12、3 の計 4 回）
- 5) 国内外の地震工学に関する活動状況の収集と公開

23-1 耐震基準小委員会

委員長 酒井 久和 幹事長 片岡 正次郎

ほかに委員：38 名 委員会：1 回 WG 会議：11 回 他にメールにて審議

- 1) 土木構造物の性能設計の普及と設計体系の再構成に関わる試行
- 2) 10 年後を見通した社会基盤施設の設計のあり方に関する基本的考え方を検討
- 3) ISO23469 の趣旨を踏まえた性能設計事例集の作成
- 4) 東日本大震災、熊本地震等を踏まえて打ち出された危機耐性に関する研究課題への取り組み

23-2 地震防災技術普及小委員会

委員長 濱野 雅裕 副委員長 渡辺 和明

幹事長 溜 幸生 副幹事長 大竹 省吾、福武 毅芳

ほかに委員および顧問：29 名 委員会：6 回 他にメールにて審議

- 1) 耐震設計技術の普及、地震災害軽減のためのマネジメント技術の普及、高所大所からの地震防災技術の普及や体験・体感する機会の提供、一般市民を対象とした防災普及活動の実践を目的とした各種行事を企画・実施
- 2) 土木学会による実務者のための耐震設計入門セミナー（基礎編）および（実践編）、第 18 回地震災害マネジメントセミナー、第 19 回地震防災技術懇話会（併せて会員向けビデオ公開）、熊本地震被災地視察の開催

23-3 地震被害調査小委員会

委員長 清田 隆 副委員長 高橋 良和

幹事長 小野 祐輔

ほかに委員：10 名 委員会：1 回 メールにて審議

- 1) 国内外での地震発生時に、メールによる情報収集および調査団派遣の必要性の検討
- 2) 土木学会が収集した観測地震記録ダウンロードサイトの運営
- 3) 2018 年北海島胆振東部地震の情報収集
- 4) 2018 年の島根県西部で発生した地震、大阪府北部地震、北海道胆振東部地震、インドネシア・スラウェシ島地震、アラスカ州アンカレッジで発生した地震、ニューカレドニアで発生した地震に関わる情報収集と特別 HP 立ち上げ、速報会を開催（9、10、12 月の計 3 回）

23-4 地震工学論文集編集小委員会

委員長 五十嵐 晃 幹事長 飛田 哲男

ほかに委員：18 名 委員会：2 回 他にメールにて審議

- 1) 第 38 回地震工学研究発表会の開催
- 2) 土木学会論文集 A1 特集号（地震工学論文集 Vol.37）の発行
- 3) 土木学会論文集 A1 特集号（地震工学論文集 Vol.38）の論文公募と査読審査の管理

23-5 国際化対応小委員会

委員長 能島 暢呂 副委員長 吉見 雅行

幹 事 長 丸 山 喜 久

ほかに委員および顧問：5名 メールにて審議

- 1) 学術的な地震被害調査報告の英文版を適時情報発信する「随時受付可能な査読付英文電子ジャーナル(JSCE Disaster Fact Sheets)の発行」を目的とした、Web site 設立準備・広報周知活動・JSCE Disaster Fact Sheets 編集運営活動の実施

23-6 水循環施設の合理的な災害対策研究小委員会 (平成30年9月12日まで)

委 員 長 宮 島 昌 克

副 委 員 長 有 賀 義 明

幹 事 長 小 西 康 彦

副 幹 事 長 鯉 田 泰 子、小 野 祐 輔

ほかに委員：50名 委員会：1回 他にWG会議およびメール審議

- 1) 歴史地震・津波の再来、あるいは人為的対応を上回る地震・津波の来襲を受けた時、上下水道を中心とした水循環NW施設の望ましいあり方について5つのWGで研究・提案を実施
- 2) 「第4回地震・津波に関するシンポジウム」を神戸にて開催

23-7 性能設計に対応した繰返しせん断試験検討小委員会

委 員 長 渦 岡 良 介

幹 事 長 三 上 武 子

ほかに委員：12名 委員会：2回 他にメールにて審議

- 1) せん断ひずみが0.1~4%の間の挙動を求める試験法の検討
- 2) 現状の試験方法に関する情報収集と分析

23-8 ライフラインに係わる都市減災対策技術の高度化に関する研究小委員会

委 員 長 鈴 木 崇 伸

副 委 員 長 片 岡 正 次 郎

副 委 員 長 永 田 茂

幹 事 長 丸 山 喜 久

ほかに委員および幹事：23名 委員会：3回 他にメールにて審議

- 1) ライフライン施設の被害把握やレジリエンス向上に係る減災対策技術の高度化を目的に3つのWGで活動
- 2) 「第9回インフラ・ライフライン減災対策シンポジウム」を琉球大学で開催

23-9 地形に残された地震痕跡データの集約と活用に関する研究小委員会

委 員 長 小 長 井 一 男

副 委 員 長 大 野 春 雄

幹 事 長 池 田 隆 明

ほかに委員：7名 委員会：1回 他にメールにて審議

- 1) 過去の地盤に関する地震災害事例の収集とデータアーカイブスに関する検討
- 2) 熊本地震について調査を実施

23-10 断層帯近傍における地震動メカニズム検討小委員会

委 員 長 香 川 敬 生

副 委 員 長 吉 見 雅 行

幹 事 長 後 藤 浩 之

ほかに委員：5名 委員会：1回 他にメールにて審議

- 1) 断層帯近傍における地震動の実態把握を目的に3つのWGで活動
- 2) 熊本地震、福島県浜通り地震、長野県北部の地震、鳥取県中部の地震について調査を実施し、情報共有

23-11 地盤・構造物の非線形地震応答解析法の妥当性確認／検討方法の体系化に関する研究小委員会

委 員 長 中 村 晋

幹 事 長 酒 井 久 和

ほかに委員：27名 委員会：1回 幹事会・WG会議：10回 他にメールにて審議

- 1) 地盤・構造物の非線形地震応答解析に関する妥当性確認と検証の課題整理を目的に4つのWGで活動
- 2) 「非線形地震応答解析の検証と妥当性確認の方法と事例ワークショップ」を開東学院大学にて開催

23-12 2016年熊本地震による被害調査・分析小委員会

委 員 長 池 田 隆 明

副 委 員 長 庄 司 学

幹 事 長 豊 岡 亮 洋 副 幹 事 長 渡 邊 学 歩
ほかに委員：26 名 委員会：1 回 他にメールにて審議

- 1) 地震被害調査シリーズ No.1「2016 年熊本地震被害調査報告書」講習会を東京大学武田ホールにて開催
- 2) 熊本地震の被害状況を幅広く集約し、分析・検討の実施

23-13 城壁の耐震診断・補強に関する研究小委員会

委 員 長 橋 本 隆 雄 副 委 員 長 宮 島 昌 克
幹 事 長 池 本 敏 和 副 幹 事 長 岩 津 雅 也
ほかに委員：41 名 委員会：2 回 WG 会議等：いお 18 回 他にメールにて審議

- 1) 熊本城をモデルとして、過去の崩壊履歴も含めた大規模な崩壊跡の現地調査
- 2) 現地調査から崩壊メカニズムを把握し、探査・実験・解析を行う

23-14 橋梁等の対津波・対洪水に関する研究小委員会

委 員 長 竹 田 周 平 副 委 員 長 伊津野 和 行
幹 事 長 佐 藤 崇
ほかに委員：18 名 委員会：1 回 他にメールにて審議

- 1) 橋梁の対津波に関する設計法に加え、対洪水も含めて研究を行う

23-15 性能に基づく橋梁の耐震構造計画・設計法に関する研究小委員会

委 員 長 高 橋 良 和 副 委 員 長 大 住 道 生
幹 事 長 藤 倉 修 一
ほかに委員および幹事：50 名 委員会：3 回 WG 会議：7 回 他にメールにて審議

- 1) 橋梁耐震に関わる性能を評価、照査、さらに配慮するために必要とされる学術的な研究課題について、耐震性能を踏まえた構造計画法の構築、および構造設計法の向上に資することを目的に、耐震構造計画、耐震設計、耐震補強の 3 つの WG で活動
- 2) 「第 21 回性能に基づく橋梁等の耐震設計に関するシンポジウム」を開催

23-16 AI・IoT 技術の地震工学への有効活用検討小委員会

委 員 長 北 原 武 嗣 副 委 員 長 梶 田 幸 秀
幹 事 長 宮 本 崇
ほかに委員および幹事：19 名 委員会：2 回 他にメールにて審議

- 1) AI 技術、IoT 技術の適用に関して、近年の技術動向に関するレビューと地震工学分野における活用事例に関する情報共有を図る
- 2) 「第 9 回インフラ・ライフライン減災対策シンポジウム」を琉球大学で開催

23-17 熊本地震における建設技術者の応急対応に関する調査小委員会

委 員 長 後 藤 洋 三 副 委 員 長 岩 原 廣 彦
副 委 員 長 柿 本 竜 治 幹 事 長 佐 藤 誠 一
ほかに委員および幹事：13 名 委員会：2 回 他にメールにて審議

- 1) 熊本地震における建設技術者の対応を調査

23-18 断層変位を受ける地中管路の設計手法に関する研究小委員会

委 員 長 清 野 純 史 副 委 員 長 鈴 木 崇 伸
幹 事 長 長谷川 延 広
ほかに委員および幹事：23 名 委員会：3 回 他にメールにて審議

- 1) 断層変位に関わる様々な研究を参考に、断層変位を受ける地中管路の設計手法の確立
- 2) 「第 9 回インフラ・ライフライン減災対策シンポジウム」を琉球大学で開催

23-19 水循環施設の合理的な地震・津波対策研究小委員会

委員長 飛田 哲男 副委員長 有賀 義明
幹事長 宮本 勝利

ほかに委員：11名 委員会：1回 他にWG会議およびメール審議

- 1) 改訂作業が始められた水道施設耐震工法指針（日本水道協会）に耐震設計法などの技術的知見に関する重要な情報を提供できるよう、検証実験や数値シミュレーションなどを実施し、具体的な評価方法や対策方法を検討
24. 原子力土木委員会

委員長 小長井 一男 副委員長 蛭沢 勝三
副委員長 中村 晋 幹事長 松村 卓郎

ほかに顧問、委員および幹事・オブザーバー：47名 委員会：2回 幹事会：3回

- 1) 原子力土木に関する調査研究を実施
- 2) 原子力関係の小委員会及び委託研究委員会の調査研究を促進
- 3) 公開講演会「原子力発電所の確率論的リスク評価」を開催（H30.7.5）
- 4) 公開講演会「近代の終わる時 ～明日はどうなるのだろうか～」（H31.1.30）

24-1 国際規格研究小委員会

委員長 中村 晋 幹事長 河井 正

ほかに委員：10名

- 1) 原子力関係の国際規格としてIAEA(International Atomic Energy Agency)の予算支援事業(EBP;Extra Budget Program)における規程関係書類の作成、関連する国際基準の調査

24-2 津波評価小委員会（受注）

委員長 高橋 智幸 幹事長 松山 昌史

ほかに委員および幹事・オブザーバー：19名 小委員会：4回

- 1) 津波評価技術の体系化に関する調査研究を実施
- 2) 受注研究「津波評価技術の体系化に関する研究（その7）」の実施

24-3 地盤安定性評価小委員会（受注）

委員長 吉田 郁政 副委員長 谷 和夫

幹事長 小早川 博亮

ほかに委員および幹事・オブザーバー：43名 小委員会：3回

- 1) 破壊進展を考慮した安定性評価、斜面崩落評価、断層変位評価の観点から、地盤安定性評価の課題を整理し、実用に耐えうる信頼性の高い地盤安定性評価手法の体系化に関する研究を実施
- 2) 受注研究「地盤安定性評価手法の体系化に関する研究（その3）」の実施

24-4 地中構造物の耐震性能照査高度化小委員会（受注）

委員長 前川 宏一 幹事長 松尾 豊史

ほかに委員および幹事・オブザーバー：46名 小委員会：3回

- 1) 屋外重要土木構造物の耐震性能照査の課題を整理し、実用に耐えうる信頼性の高い耐震性能照査手法の体系化に関する研究の実施
- 2) 受注研究「屋外重要土木構造物の耐震性能照査手法の標準化（2018年度）」の実施

24-5 断層活動性評価の高度化小委員会（受注）

委員長 金折 裕司 幹事長 青柳 恭平

ほかに委員および幹事・オブザーバー：26名 小委員会：1回

- 1) 断層破碎部の各種性状の観点から、断層活動性評価の課題を整理し、破碎部性状等による断層の活動性評価手法の体系化に関する研究を実施
- 2) 受注研究「断層活動性評価手法の体系化に関する研究」の実施

25. トンネル工学委員会

委員長 赤木 寛一 副委員長 土橋 浩
幹事長 寺戸 秀和

ほかに相談役：9名 委員：50名 委員会：2回

- 1) 委員会の運営に関する審議
- 2) トンネル工学に関する調査研究を実施

25-1 運営小委員会

委員長 土橋 浩 幹事長 寺戸 秀和

ほかに委員および幹事：17名 委員会：2回

- 1) 委員会の運営に関する事項を検討・実施

25-1-1 ホームページ部会

部会長 土門 剛 幹事長 嶋本 敬介

ほかに委員：6名 メールにて審議

- 1) トンネル工学委員会ホームページの企画・管理を実施

25-1-2 技術交流部会

部会長 土門 剛 幹事長 西村 直樹

ほかに委員および幹事：6名 部会：2回

- 1) トンネル技術に関する交流と情報交換の場として、「トンネル技術講演会」を企画・実施
- 2) 「トンネル工学セミナー2018」を開催
- 3) コンサルタント委員会主催の土木ふれあいフェスタへの協力

25-1-3 シールドトンネルDB運営部会

部会長 新井 泰 幹事長 西田 与志雄

ほかに委員および幹事：15名 部会：1回

- 1) シールドトンネルDBの参加依頼要請、工事情報DBの募集
- 2) 収集データの利活用に関する検討

25-2 技術小委員会

委員長 京谷 孝史 幹事長 高橋 浩

ほかに委員および幹事：15名 委員会：2回

- 1) 調査研究部会の管理、運営
- 2) 研究課題抽出、研究立上げ

25-2-1 山岳トンネルのリスク低減に関する検討部会

部会長 芥川 真一 幹事長 山田 浩幸

ほかに委員および幹事：34名 部会：3回

- 1) 山岳トンネルにおけるリスク低減に関する研究

25-2-2 トンネル維持管理事例に関する検討部会

部会長 小島 芳之 副部会長 砂金 伸治、小西 真治

幹事長 津野 究

ほかに委員および幹事：28名 部会：6回

- 1) 各機関が実施する維持管理の現状整理
- 2) 維持管理の視点から見たトンネルの建設技術（山岳、シールド、開削）、点検技術、補修技術の変遷の整理
- 3) 用途、工法毎の事例の収集・分析、ビジュアルな事例集の作成
- 4) 計画、点検、評価、対策、記録のポイントと留意点の整理

5) ライブラリーの発刊および講習会開催

25-2-3 特殊トンネル工法に関する技術検討部会

部 会 長 長 山 喜 則 副 部 会 長 清 水 満
幹 事 長 澤 田 亮

ほかに委員：21 名 部会：4 回

- 1) 特殊トンネル工法の変遷に関する調査
- 2) 特殊トンネル工法の設計・施工法の特徴に関する調査
- 3) 特殊トンネル工法の設計・施工事例の収集

25-2-4 シールドトンネルに関する国内外の基準検討部会

部 会 長 杉 本 光 隆 副 部 会 長 土 橋 浩
幹 事 長 木 谷 努

ほかに委員：28 名 部会：10 回

- 1) 国内外の基準類の収集、整理
- 2) 国内外の基準類の比較検討及び思想の体系化
- 3) 海外、国内の基準類による、覆工設計法を検討及び試算

25-2-5 トンネルの耐震性に関する技術検討部会

部 会 長 朝 倉 俊 弘 副 部 会 長 砂 金 伸 治、野 城 一 栄
幹 事 長 室 谷 耕 輔

ほかに委員：44 名 部会：18 回

- 1) 地震被害の実態把握・整理
- 2) 国内外での耐震設計に関する研究事例の収集・整理
- 3) 新設トンネルの耐震設計法ならびに設計事例の紹介
- 4) 既設トンネルの耐震性能評価手法ならびに補強対策方法・検討事例の紹介
- 5) 今後の耐震性評価・耐震設計に関する提言

25-3 土木学会論文集 F1 特集号編集小委員会

委 員 長 小 西 真 治 幹 事 長 野 城 一 栄

ほかに委員および委員兼幹事：21 名 委員会：4 回

- 1) 「土木学会論文集 F1 (トンネル工学) Vol. 74 No. 3 特集号」、「トンネル工学報告集 Vol. 28」を編纂
- 2) 「土木学会論文集 F1 (トンネル工学) Vol. 74 No. 3 特集号」J-STAGE への掲載
- 3) 「第 28 回トンネル工学研究発表会」を開催

25-4 示方書改訂小委員会

委 員 長 松 浦 將 行 幹 事 長 太 田 裕 之

ほかに委員：22 名 委員会：4 回

- 1) 次期改訂までのスケジュール・作業内容検討
- 2) 英訳版の公開方法の検討および共通編英訳作業

25-4-1 山岳工法部会

委 員 長 深 沢 成 年 副 委 員 長 海 瀬 忍
幹 事 倉 持 秀 明

ほかに委員、オブザーバー：17 名 委員会：2 回

- 1) 英訳版の公開方法の検討および山岳工法編英訳作業
- 2) 示方書に関する質問・意見への対応

25-4-2 シールド工法部会

委員長 坂根良平 副委員長 関伸司
幹事長 斉藤正幸

ほかに委員、オブザーバー：18名 委員会：1回

- 1) 英訳版の公開方法の検討およびシールド工法編英訳作業
- 2) 示方書に関する質問・意見への対応

25-4-3 開削工法部会

委員長 野焼計史 副委員長 増野正男
幹事 石川善大

ほかに委員、オブザーバー：9名 メールにて審議

- 1) 英訳版の公開方法の検討および開削工法編英訳作業
- 2) 示方書に関する質問・意見への対応

26. 環境工学委員会

委員長 藤井滋穂 幹事長 伊藤禎彦
幹事長補佐 大下和徹 幹事長補佐 小坂浩司

ほかに委員および委員兼幹事：41名 委員会：4回 幹事会：4回

- 1) 「第55回環境工学研究フォーラム（H30.12.17～19 京都市）」を開催、論文集及び講演集を編集、作成
- 2) 土木学会論文集G（環境）の投稿・購読の促進等
- 3) 環境工学関係小委員会および委託研究小委員会の調査研究を促進
- 4) シンポジウム、学生海外ツアー、ホームページ・メール配信等による環境工学の研究・教育の推進
- 5) 第20回途上国の環境問題を見て考える全国学生ツアー（香港、マカオ、深セン）の実施

26-1 論文集小委員会

委員長 藤井滋穂 幹事長 伊藤禎彦

ほかに委員：17名 委員会：2回

- 1) 「第55回環境工学研究フォーラム」応募論文の審査、査読を実施し、『土木学会論文集G（環境）Vol.74, No.7（環境工学研究論文集第55巻）』及び『第55回環境工学研究フォーラム講演集』編集

26-2 表彰小委員会

委員長 藤井滋穂 幹事長 伊藤禎彦

ほかに委員：2名

- 1) 第55回環境工学研究フォーラムにおける各賞表彰者を選考
- 2) 土木学会論文賞および論文奨励賞に、第53回および第54回環境工学研究フォーラムでの優秀論文を推薦

26-3 次世代下水道小委員会

委員長 藤井滋穂 幹事長 伊藤禎彦

ほかに委員：20名

- 1) 次世代下水道小委員会講演会「下水道資源活用の最前線」（H31.2.5 東京都）を開催

26-4 水インフラ更新に関する小委員会

委員長 滝沢智 幹事長 酒井宏治

ほかに委員：40名 委員会：3回

- 1) 水インフラ更新のための水道事業の将来モデルの開発
- 2) 水インフラ更新の優良事例の収集

26-5 他分野連携に向けた下水道先端技術の開発状況に関する調査検討小委員会（受注）

委員長 田中宏明 幹事 日高平

ほかに委員：5名 委員会：3回

- 1) 国土交通省 「他分野連携に向けた下水道先端技術の開発状況に関する調査検討業務」を実施
- 2) 第 55 回環境工学研究フォーラムにおける一般公開シンポジウム：「下水道先端技術と環境工学と周辺分野の展開」(H30.12.18 京都市)を開催
- 3) 下水道先端技術と環境工学と周辺分野の展開 第 2 回講演会(H31.1.31 東京都)を開催

26-6 環境技術思想小委員会

委員長 楠 田 哲 也

ほかに委員：19名 委員会：5回

- 1) 臨床環境技術小委員会と共催で4回のセミナーを実施
- 2) 臨床環境技術小委員会と共催でイベントを開催(H30.8.10 京都市)

26-7 臨床環境技術小委員会

委員長 伊 藤 禎 彦

ほかに委員：19名

- 1) 環境技術思想小委員会と共催で4回のセミナーを実施
- 2) 環境技術思想小委員会と共催でイベントを開催(H30.8.10 京都市)

27. 環境システム委員会

委員長 藤 田 壮 幹事長 齊 藤 修

副幹事長 本 下 晶 晴

ほかに委員会顧問、委員および委員兼幹事：45名 委員会：3回 幹事会：1回

- 1) 環境システムに関する調査研究を実施
- 2) 「第 46 回環境システム研究論文発表会（H30.10.20～10.21 名古屋大学）」を開催

27-1 論文審査小委員会

委員長 吉 田 登 幹事長 齊 藤 修

副幹事長 本 下 晶 晴

ほかに委員および委員兼幹事：40名 委員会：2回

- 1) 「第 46 回環境システム研究論文発表会」全文査読部門・アブストラクト査読部門への応募論文の審査、査読を実施し、『土木学会論文集 G（環境）Vol.74, No.6（環境システム研究論文集 46 巻）』及び『第 46 回環境システム研究論文発表会講演集』を編集

27-2 表彰小委員会

委員長 森 口 祐 一 幹事長 齊 藤 修

ほかに委員：2名 委員会：2回

- 1) 環境システム優秀論文賞、論文奨励賞、優秀学生発表賞、優秀ポスター賞を選考

27-3 国際連携・環境評価研究小委員会

委員長 谷 川 寛 樹

ほかに委員：9名

- 1) 第 46 回環境システム研究論文発表会での企画セッション

27-4 広報・電子化小委員会

委員長 荒 巻 俊 也

ほかに委員：3名 メールにて審議

- 1) 環境システム委員会 Web サイトの更新、一般向けメーリングリストの運営

27-5 環境システムビジネス展開小委員会

委員長 鷹 巻 峰 夫

ほかに委員：4名

- 1) (社)日本環境アセスメント協会との共催行事である第61回環境システムシンポジウム「自然先学の環境影響と対策～災害時の環境影響を通して人と環境との共生の問題を考える」(H31.2.25 東京都)を実施

27-6 環境と健康で再構築する未来社会の研究小委員会

委員長 片谷 教孝

ほかに委員：8名

- 1) 第46回環境システム研究論文発表会での企画セッション

28. 岩盤力学委員会

委員長 京谷 孝史 副委員長 砂金 伸治 西本 吉伸

幹事長 岸田 潔

ほかに顧問、委員および幹事：56名 委員会：2回

- 1) 岩盤力学に関する調査研究を実施
- 2) 小委員会の活動状況および予算執行状況の確認
- 3) 小委員会の設置、改廃の検討
- 4) Webの運営

28-1 企画運営小委員会

委員長 京谷 孝史 副委員長 砂金 伸治 西本 吉伸

幹事長 岸田 潔

ほかに委員および幹事：17名 委員会：3回

- 1) 委員会の企画・運営に関する事項の検討

28-2 論文小委員会

委員長 三谷 泰浩

ほかに委員および幹事：12名 委員会：3回

- 1) 「第46回岩盤力学に関するシンポジウム」の開催

28-3 岩盤斜面研究小委員会

委員長 緒方 健治

ほかに委員および幹事：22名 委員会：3回

- 1) 岩盤斜面に関する調査研究を実施

28-4 岩盤動力学に関する研究小委員会

委員長 藍 檀 オメル

ほかに委員、幹事およびオブザーバー：24名 委員会：2回

- 1) 岩盤動力学の現状および課題の整理と体系化の枠組みを検討

28-5 岩盤力学関連事例研究小委員会

委員長 砂金 伸治 副委員長 寺戸 秀和

ほかに委員、幹事およびオブザーバー：20名 委員会：7回

- 1) 岩盤力学に関連する事例の分析等を通じ、岩盤力学としての知見のとりまとめを検討

28-6 岩盤力学改訂版編集小委員会

委員長 京谷 孝史

幹事長 岸田 潔 森岡 宏之

ほかに委員および委員兼幹事55名 委員会：1回

- 1) 岩盤力学に基づく情報の発信が可能となる体制を整え、発信する
- 2) 岩盤力学の知識が活用できる代表的な手法に関する事例を念頭に置いた文献・情報の収集、および分析等を

実施

29. 海洋開発委員会

委員長 下 迫 健一郎 幹事長 金 澤 剛

ほかに顧問、委員および幹事：49名 委員会：2回 幹事会：3回

- 1) 海洋開発に関する調査研究を実施
- 2) 「第43回海洋開発シンポジウム（H30.7.5～6 金沢市）」を開催
- 3) 『土木学会論文集 B3（海洋開発）Vol. 74（2018），No. 2』を編集
- 4) 海洋開発メールニュースにて情報配信
- 5) 「海洋工学会」、「海洋政策学会」、「海岸工学委員会」、「地球環境委員会」等の他学会、他委員会との連携

29-1 企画小委員会

委員長 岡 田 知 也

ほかに委員：12名、オブザーバー：2名 メールにて審議

- 1) 海洋開発委員会活動活性化のための企画立案および運営
- 2) シンポジウム特別セッションの企画・開催

29-2 論文集編集小委員会

委員長 富 田 孝 史 副委員長 久保田 真 一、中 村 友 昭

ほかに委員およびオブザーバー：12名 委員会：3回 他メールにて審議

- 1) 『土木学会論文集 B3（海洋開発）Vol. 74（2018），No. 2』への応募論文対応、査読基準の検討、審査他
- 2) 査読体制の検討
- 3) 論文査読システムの運用

29-3 論文査読小委員会

委員長 下 迫 健一郎 副委員長 小 田 僚 子

ほかに委員：133名 メールにて審議

- 1) 査読体制の検討
- 2) 『土木学会論文集 B3（海洋開発）Vol. 74（2018），No. 2』への応募論文の査読

29-4 シンポジウム小委員会

委員長 森 屋 陽 一 副委員長 金 澤 剛

ほかに委員およびオブザーバー：14名 委員会：1回 他メールにて審議

- 1) 「第43回海洋開発シンポジウム（H30.7.5～6 金沢市）」プログラム編成、見学会開催他

29-5 広報小委員会

委員長 鈴 木 崇 之

ほかに委員：4名 メールにて審議

- 1) メールニュース，委員会 HP 他、広報全般に関わる提案、運営

29-6 高度数値解析ツール活用検討小委員会

委員長 川 崎 浩 司

ほかに委員およびオブザーバー：9名 委員会：3回 他メールにて審議

- 1) 数値解析モデルの実務適用に向けた調査研究

29-7 津波小委員会

委員長 鈴 木 崇 之

ほかに委員：5名 メールにて審議

- 1) 各地域の津波対応・防災計画に関する調査研究

29-8 国際小委員会

委員長 高木泰士

ほかに委員：5名 メールにて審議

30. 土木情報学委員会

委員長 福森浩史

副委員長 佐田達典

副委員長 蒔苗耕司

幹事長 千葉洋一郎

ほかに委員および幹事：31名 委員会：4回 幹事会：6回

他にメールにて審議

1) 土木情報学に関する調査研究を実施

2) 「第43回土木情報学シンポジウム」、CIMに関連した講演会等の開催

30-1 行事企画小委員会

委員長 伊東広敬

副委員長 塩崎正人

ほかに委員：8名 委員会：7回

1) 全国大会研究討論会「準天頂衛星がみちびく土木・測位の未来」を主催。次年度テーマについての検討

2) 委員会主催行事の企画・運営（土木情報学シンポジウム、講演会、講習会）

30-2 論文編集小委員会

委員長 菊池喜昭

副委員長 黒台昌弘

副委員長 佐藤靖彦

ほかに委員：16名 委員会：6回 他にメールにて審議

1) 土木学会論文集F3特集号の論文査読

2) 土木情報学シンポジウム講演集の編集

3) 土木学会賞（論文賞、論文奨励賞および技術開発賞）への推薦候補選定

30-3 教育企画小委員会

委員長 蒔苗耕司

ほかに委員：3名 メールにて審議

1) 土木情報学教育の内容に関する検討

2) 土木情報学のe-Learnig教材の制作

3) 土木技術者への情報教育ためセミナー企画・開催等

30-4 建設3次元情報利用研究小委員会

委員長 石田仁

副委員長 藤澤泰雄

副委員長 矢尾板啓

ほかに委員：42名 委員会：3回 他にメールにて審議

1) 各建設生産プロセスにおける生産性向上を目的とした3次元情報や関連する要素技術の調査研究

2) 上記の研究の情報発信

3) CIM講演会の開催

30-5 建設ICTデータ連携研究小委員会（平成30年5月31日まで）

委員長 和泉繁

副委員長 青山憲明

副委員長 丸山明

ほかに委員：9名 委員会：1回

1) 建設情報を維持管理に役立てるデータ連携の仕組みに関する調査・研究

2) データモデルセミナー（第6回）の開催

30-6 インフラモニタリング技術研究小委員会

委員長 河村 圭 副委員長 塩崎 正人
ほかに委員：15名 委員会：6回

- 1) 効率的なモニタリングの実施に向けた調査研究
- 2) 継続的な維持管理の実施のための調査研究

30-7 インフラオープンデータ・ビッグデータ研究小委員会

委員長 関本 義秀 副委員長 今井 龍一
副委員長 小林 亘 幹事長 山本 尉太
ほかに委員：19名 委員会：5回

- 1) インフラオープンデータの活用検討
- 2) インフラオープンデータをテーマとするワークショップの企画・運営

30-8 IoT活用研究小委員会 (平成30年5月31日まで)

委員長 栢見 周彦 副委員長 蒔苗 耕司
ほかに委員：23名 委員会：5回 その他メールにて審議

- 1) 先端的情報技術の動向調査
- 2) 社会全体の ICT 化時代における土木分野のビジョン作成
- 3) IoT/AI 活用に関する調査研究

30-9 土木工事における GNSS の活用研究小委員会

委員長 黒台 昌弘 副委員長 岡本 修
副委員長 佐田 達典
ほかに委員：8名 委員会：4回

- 1) 測位技術や測地・測量学の基礎、土木現場における適正な GNSS の運用法、準天頂衛星や単独高精度測位 PPP 等最新技術の活用について研究を行う

30-10 IoT/AI 活用研究小委員会

委員長 栢見 周彦 副委員長 蒔苗 耕司
ほかに委員：21名 委員会：メールにて審議

- 1) 社会インフラ分野へ IoT/AI の適用を推進する研究
- 2) IoT/AI の課題に取り組む研究の調査及び分析・活用方法の研究
- 3) 学会内の AI 関連 3 小委員会として連携した活動

30-11 道路構造物維持管理データモデル研究小委員会

委員長 和泉 繁 副委員長 青山 憲明
副委員長 羽田野 恒 副委員長 山崎 元也
ほかに委員：17名 委員会：3回

- 1) 道路構造物の維持管理手法として構造体モデルと属性情報およびそれらを一体的に管理する方法の調査・研究

30-12 河川・港湾維持管理システム研究小委員会

委員長 五十嵐 善一 副委員長 萩原 修身
副委員長 宮田 岩往
ほかに委員：19名 委員会：3回

- 1) 河川構造物や港湾構造物等の維持管理データの保管や活用手法の検討

31. エネルギー委員会

委員長 島田 保之 副委員長 梶田 直揮
幹事長 安保 秀範
ほかに顧問、委員および幹事：28名 委員会：2回

- 1) 電力、ガス等、エネルギーに関する土木技術についての調査・研究を実施
- 2) 講演会「エネルギー基本計画とエネルギー産業の将来展望」(H30.9.4 東京都)、「我が国の地熱開発動向とJOGMECの活動状況」(H30.9.19 東京都)、「電力土木分野におけるICT施工・維持管理技術の最新動向」(H30.12.10 東京都)、見学会「まちなかどぼくウォークラリー～エネルギーと土木にちなんだ施設を見てまわって体験するツアー～」(H30.8.3 東京都)を開催

31-1 新技術・エネルギー小委員会

委員長 山田 安秀

ほかに委員および幹事：6名 委員会：3回 分科会：6回

- 1) 高経年化水力発電所の再開発・大規模更新事例における土木技術の調査についての検討、水路設備保全技術の実務者育成に関する検討
- 2) 成果報告会「水力発電所土木設備の再開発・更新事例に関する調査」(H30.10.31 東京都)を開催

31-2 環境技術小委員会

委員長 仲敷 憲和

ほかに委員および幹事：14名 委員会：1回

- 1) 再生可能エネルギーについて検討
- 2) 「再生可能エネルギー開発～最新事情と海外展開～」出版記念講演会(H30.6.11 東京都)を開催

31-3 二酸化炭素回収・貯留(CCS)における調査・研究小委員会

委員長 石田 毅

ほかに委員および幹事：11名

- 1) 土木分野でのCCSへの取組みについての検討
- 2) 報告会「CCSの活動報告」(H31.2.8 東京都、)を共催で開催

31-5 低レベル放射性廃棄物・汚染廃棄物対策に関する研究小委員会

委員長 大西 有三 副委員長 勝見 武

ほかに委員および幹事：22名 委員会：2回 WG会議：9回

- 1) 除去土壌等の除染廃棄物対策と地域振興・合意形成方策についての検討、廃止措置に係る事故由来汚染廃棄物および極低レベル放射性廃棄物(L3)対策についての検討
- 2) 重点研究課題「新規規制基準に対応した極低レベル放射性廃棄物処分施設概念と設計の考え方に関する研究」を実施
- 3) 講演会「極低レベル放射性廃棄物処分施設の概念と設計の考え方に関する調査研究の中間報告」(H31.3.13 東京都)を開催

31-6 スマートシェアシティ研究小委員会

委員長 古池 弘隆 幹事長 古明地 哲夫

ほかに委員および幹事：19名 委員会：4回

- 1) スマートシェアシティについての検討

32. 建設技術研究委員会

委員長 杉原 克郎 幹事 延藤 遵

ほかに委員会顧問、委員および幹事：29名 委員会：2回

- 1) 建設技術に関する問題の研究・調査およびこれらの推進を図る
- 2) 全国大会 研究討論会の企画

32-1 運営小委員会

委員長 東野 光男 副委員長 手塚 広明

副委員長 中村 広規 副委員長 古市 耕輔

ほかに委員および幹事：16名 委員会：8回

- 1) 各小委員会の運営方針の検討、連絡調整等を行う

32-2 行事企画小委員会

委員長 渡辺 巧 副委員長 山本 和範

副委員長 福井 正規

ほかに委員：10名 委員会：6回

- 1) 「土木建設技術発表会 2018」（H30.11.13）の企画・開催

32-3 建設技術体系化小委員会

委員長 藤波 亘 副委員長 斎藤 達也

ほかに委員：16名 委員会：8回

- 1) 「杭の施工管理技術に関する体系化」に関して作業を行う①施工管理システム等調査WG②不具合事例等調査WG

32-4 建設技術 Q&A 小委員会

委員長 浜添 光太郎 副委員長 橋本 敦史

ほかに委員：13名 委員会：10回

- 1) なんでも相談室 土工・掘削編」改訂、発刊

32-5 国際技術交流小委員会

委員長 澤井 淳司 副委員長 上野 恭宏

ほかに委員：8名 委員会：3回

- 1) 海外技術者との国内における交流会の企画、実施
- 2) JICA 研修協力（企画・開催）

32-6 土壌・地下水汚染対策研究小委員会

委員長 浅井 靖史 副委員長 塩尻 大輔

副委員長 光本 純

ほかに委員：11名 委員会：9回

- 1) 残土条例の調査および区域内での施工方法等の調査をとりまとめ報告会を実施
- 2) 東京都特別区専門研修への講師派遣

32-7 生産性向上小委員会

委員長 安藤 陽 副委員長 石田 靖

副委員長 山田 勝己

ほかに委員：10名 委員会：5回

- 1) 生産性向上につながった事例の調査・分析

33. 建設用ロボット委員会

委員長 建山 和由 副委員長 山元 弘 幹事長 木川田 一弥

ほかに顧問、委員および幹事：41名 委員会兼幹事会：4回

- 1) 建設分野における情報化・自動化・ロボット化に関する調査研究を実施
- 2) 「インフラメンテナンスへのロボット技術の展開」に関する全国大会研究討論会を実施
- 3) 建設ロボット関連の学協会との連携。

33-1 幹事会

委員長 建山 和由 副委員長 山元 弘 幹事長 木川田 一弥

ほかに顧問、委員および幹事：28名

- 1) 主催行事、共催行事の実施方針の検討および承認

- 2) 研究小委員会の調査研究テーマに対する意見照会

33-2 維持管理小委員会

委員長 池田 隆成 副委員長 山本 善久 事務局長 水野 光一朗
ほかに委員：16名 委員会：6回

- 1) 具体的な活動テーマを検討
 - ・維持管理上の課題整理
 - ・課題からロボット化が望まれる技術の整理
 - ・維持管理業務に必要なロボット化の提案
- 2) 各事業者の維持管理事例と課題についての調査および整理
- 3) 「インフラメンテナンスへのロボット技術の展開」に関する全国大会研究討論会を実施

33-3 建設施工小委員会

委員長 関 伸司 副委員長 田中 敏成 事務局長 金子 貴一
ほかに委員：18名 委員会：2回

- 1) 宇部港海上 GPS 高精度測位講習会の実施
- 2) 海洋土木技術者のためのROV等水中機器類技術講習会の実施
- 3) ロボット技術の現状把握のためのアンケートを実施

33-4 新技術小委員会

委員長 古屋 弘 副委員長 小林 泰三 事務局長 椎葉 祐士
ほかに委員：3名

- 1) 具体的な活動テーマを検討
 - ・自動化・ロボット化における情報化利用、ロボット技術の意義、情報化の効果等の検討
 - ・異分野技術の調査と情報交換会の開催
 - ・海外との情報交換
- 2) 「第19回異分野技術者との交流会」を実施

33-5 災害・事故小委員会

委員長 北原 成郎 副委員長 新田 恭士 事務局長 吉田 貴
ほかに委員：10名 委員会：5回

- 1) 土木技術小委員会のテーマの土工分野を対象とした情報化施工技術、無人化施工技術、建設用ロボット技術の普及・活用・促進を図るための調査研究を実施
- 2) 技術交流会の実施

34. 地盤工学委員会

委員長 勝見 武 副委員長 桑野 玲子
幹事長 石井 裕泰
ほかに委員および幹事：36名 委員会：2回

- 1) 地盤工学に関する調査研究を実施
- 2) 地盤工学に係る情報発信を目的として、「『続』建設工事における発生土の利用と自然由来重金属等問題」というテーマで地盤工学セミナーを開催した。
- 4) 海岸や砂防などの他の関連分野や他の関連学協会との緊密な連携をとり研究を推進する。
- 5) 各小委員会を継続設置し、成果をとりまとめ災害対応技術の体系化、横断的安全問題の体系化を図る。
- 6) 地盤工学分野における将来の研究計画について検討する。

34-1 斜面工学研究小委員会

委員長 鈴木 素之

ほかに委員：34名 委員会：5回

- 1) 全国大会研究討論会「2016年熊本地震が突き付けた課題」を実施
- 2) 重点研究課題「中山間地域における広域的な豪雨による土砂災害の発生メカニズムの究明と地域防災力の向上に向けた取り組みに関する研究」を実施

34-2 火山工学研究小委員会

委員長 今井 博 副委員長 稲垣 秀輝 千葉 達朗

ほかに顧問、委員および幹事：27名 委員会：4回

- 1) 各WGの活動報告
- 2) 講演会「霧島火山と共に-2011年新燃岳噴火の教訓を活かす-」を実施

34-3 堤防研究小委員会

委員長 前田 健一 副委員長 佐々木 哲也

ほかに委員、部会委員および幹事：52名 委員会3回

- 1) 各WGの活動報告
- 2) 第6回河川堤防技術シンポジウムを実施

35. 土木計画学研究委員会

委員長 藤原 章正 副委員長 奥村 誠、毛利 雄一、佐々木 葉

幹事長 佐々木 邦明

ほかに委員および幹事など：37名 委員会：2回

- 1) 土木計画学に関する調査研究を実施
- 2) 委員会の運営に関する審議
- 3) 「第57回土木計画学研究発表会（春大会）」を開催し、土木計画学研究・講演集を編集・作成
- 4) 「第58回土木計画学研究発表会（秋大会）」を開催し、土木計画学研究・講演集を編集・作成

35-1 幹事会

幹事長 佐々木 邦明

ほかに委員兼幹事：20名 幹事会：3回

- 1) タスクの検討
- 2) 土木計画学研究発表会春大会、秋大会の検討
- 3) ウェブやセミナーを通じた情報発信と知識の普及・啓発

35-2 学術小委員会

委員長 土井 健司 副委員長 古市 正彦

幹事長 紀伊 雅敦

ほかに委員：30名 委員会：4回

- 1) 『土木学会論文集D3, Vol. 74, No. 5（土木計画学研究・論文集 第35巻）』の論文査読・編集・作成

35-3 大会運営小委員会

委員長 吉井 稔雄 副委員長 浜岡 秀勝 山本 俊行

幹事 塩見 康博

ほかに委員他：14名 委員会：3回

- 1) 30年度第57回の土木計画学研究発表会（春大会）企画
- 2) 30年度第58回の土木計画学研究発表会（秋大会）企画

35-4 減災アセスメント小委員会

委員長 岡安 章夫 多々納 裕一

ほかに委員および幹事：21名 委員会：4回

- 1) 今後巨大地震の発生が想定される地域の津波に対する被害軽減（減災）に関して、社会的公平性や経済的効率性、リスク管理等の観点から、実効的な対策を総合的に検討する。なお、減災アセスメントは自然災害一般に関わる広い概念であり、計画学研究委員会と海岸工学委員会が共同で設置する。津波対策に焦点をあてた検討を行っている。

35-5 健康まちづくり研究小委員会

委員長 秋山孝正 副委員長 谷口守
幹事長 北詰恵一

ほかに委員および幹事：31名 委員会：3回

- 1) 生涯を通して健康を実感できるまちづくり推進のため、まちづくりと健康に関わる実データ収集、分析・提示・目標設定による人々の行動への影響、エリアマネジメントのあり方などを盛り込んだ総合的な研究を進めた。
- 2) 「第57回土木計画学研究発表会（春大会）」「第58回土木計画学研究発表会（秋大会）」に合わせて小委員会を行った。
- 3) 「第97回土木計画学ワンデイセミナー『健康政策と都市構造を考えたまちづくりの展開方策』」を2019年1月28日に実施。

35-6 地方創生と若者生活研究小委員会

委員長 張峻屹

ほかに委員および幹事：37名 メールにて審議

- 1) 国際雑誌での特集編集：Special issue “Young People’s Life Choices and Travel Behavior”、Transportation Research Part D (IF= 3.788) (2019年度出版予定)／国際雑誌での特集編集：Special issue “Smart Technologies and Urban Life: A Behavioral and Social Perspective”，Sustainable Cities and Society (IF= 3.073) (2019年度出版予定)
- 2) 国際学会での論文募集：Call for Papers on “Life-oriented Travel Behavior Research”，TRB2019
- 3) 専門図書の編集：Transport and Energy Research: A Behavioral Perspective, Elsevier (2019 出版予定)
- 4) 次の展開：日本の地方創生から途上国の国境まち創生へ

35-7 自転車政策研究小委員会

委員長 吉田長裕 副委員長 山中英生、金利昭
幹事 鈴木美緒、稲垣具志、宇佐美誠史

他に委員：15名 委員会：2回

- 1) 土木計画学研究発表会春大会における企画論文セッション、スペシャルセッションの開催
- 2) 土木計画学研究発表会にあわせた、開催地における自転車利用環境整備事例の視察および討論
- 3) 小委員会開催による自転車政策関連の事例情報の共有、研究課題に関する議論
- 4) 各都市での自転車活用に係る検討課題への協力、助言

35-8 土木計画分野における3次元モデルの活用に関する研究小委員会

委員長 秀島栄三 副委員長 蒔苗耕司
幹事長 小路泰広

ほかに委員：34名 委員会：1回

- 1) BIM/CIMに関する政策動向や先進的・特徴的な取組事例を収集し、今後の方向性や技術課題を明らかにする。
- 2) 土木計画学発表会春大会において、企画論文セッションを開催した。
- 3) 2019年3月22日に名古屋工業大学において小委員会を開催したが、名工大環境都市系CAD/CIM教育プロジェクト成果報告会との共同開催とし、活発な意見交換を行った。

35-9 交通サービスの脆弱性評価小委員会

委員長 家田仁

ほかに委員および幹事： 18 名 委員会： 2 回

- 1) 災害時における道路、鉄道、港湾、航空などの交通インフラとサービスの被害と復旧・復興の実態を下敷きに、信頼性や頑健性の観点から、交通インフラとサービスの総合評価の仕組みを確立することを目的とする。
- 2) 地域における防災計画策定等について委員による協力・助言を行っている。

35-10 応用一般均衡分析と交通分析の統合に関する研究小委員会

委員長 小池 淳 司 幹事長 石 倉 智 樹

ほかに委員および幹事：18名 委員会：3回

- 1) 応用一般均衡分析と交通分析の複合領域に関する研究および実用の現状を総括し、実践的活用に向けたモデル分析への信用の醸成、先端の理論やデータ活用技術を導入したさらなる研究フィールドの発展を検討する。
- 2) ワンデイセミナー「空間的応用一般均衡分析と交通プロジェクトのストック効果」（平成 31 年 1 月 8 日）を開催した。
- 3) 国際セミナー「International Seminar on Integration of Spatial Computable General Equilibrium and Transport Modeling」（平成 31 年 3 月 14 日）を開催した。

35-11 ITS とインフラ・地域・まちづくり

委員長 清 水 哲 夫 副委員長 小 早 川 悟

ほかに委員： 21 名 委員会： 1 回

- 1) 全国の土木計画学研究者ネットワークを活用し、地域における ITS へのニーズを広範に把握すること、国内外の ITS の成果と課題を分析して、地域での実践・定着に向けた事業化手法を提案する。
- 2) 4 地域（札幌、仙台、京都、那覇）で官学の「地域づくりに資する ITS 等の活用に関する意見交換会」を開催。
- 3) 3 カ年の研究成果を踏まえ、「地域 ITS 実践マニュアル（仮称）」の作成に取り組む。

35-12 子育てしやすい子どもにやさしいまちづくり研究小委員会

委員長 大 森 宣 暁 副委員長 辰 巳 浩、谷 口 綾 子、松 村 暢 彦
幹事長 青 野 貞 康

ほかに委員：56名 委員会：3回

- 1) 子育て中の親および子どもが、地域社会で多様なライフスタイルを選択でき、生活の質向上に資する、子育てしやすいまちづくりのあり方を、都市、交通、建築、福祉、教育等、学際的な幅広い視点から総合的かつ具体的に検討する。
- 2) 3 月 16 日に、東京においてワンデイセミナーを開催した。

35-13 スマート・プランニング研究小委員会

委員長 原 田 昇 副委員長 藤 原 章 正、越 智 健 吾

他に委員：41名 メールにて審議

- 1) スマート・プランニング実践セミナーを 2 回開催し、各自治体で蓄積されつつあるスマート・プランニングの手法・技術を共有
- 2) 第 57 回土木計画学研究発表会・春大会にてスペシャルセッションを実施
- 3) 「スマート・プランニング通信」を発行し、インターネットを通じた情報発信を実施
- 4) スマート・プランニングによる地域適用事例を蓄積

35-14 航空交通システム研究小委員会

委員長 平 田 輝 満、又 吉 直 樹

他に委員：19名 委員会：2回

- 1) 「航空宇宙学会航空交通管理部門」と連携し、空港と航空交通システムに関する新たな運用方法、評価手法、分析技術の開発を行う。
- 2) 航空交通関連データの整備・活用方法論の議論を行い、テーマごとの研究会・セミナーの開催および、横断的

なセミナーの開催を行う。

35-15 インフラ・ファイナンス研究小委員会

委員長 安間 匡明 幹事長 大西 正光

他に委員：24名 委員会：1回

- 1) 設立後初となる第1回の小委員会を平成31年2月8日に開催。委員会における今後の議論の対象範囲や具体的な論点について、幅広く意見交換を行った。今後の議論の対象を主として PPPs に対するファイナンスに据えつつも、PPPs と民営化・公共事業との差異、インフラ施設が持つ公共性とファイナンスの商業性の両立に関する理念的課題、インフラ・ファイナンスを持続可能とする金融セクターのあり方等について検討することとなった。

35-16 物流に関わる国際戦略・研究活動支援事業運営小委員会

代表 柴崎 隆一

幹事長 渡部 大輔 副幹事長 川崎 智也

ほかに委員および幹事：16名 委員会：1回

- 1) 国際会議（T-LOG, EASTS における SS）の開催
- 2) 物流に関する国際的研究活動の支援

35-17 日本モビリティ・マネジメント会議実行委員会

委員長 藤井 聡 副委員長 松村 暢彦

幹事長 神田 佑亮

ほかに委員および幹事：36名 委員会：3回

- 1) 「日本モビリティ・マネジメント会議」の開催
- 2) ニュースレターJCOMM 通信の配信（年4回発行）

36. 土木史研究委員会

委員長 知野 泰明 副委員長 田中 尚人

幹事長 阿部 貴弘

ほかに委員および幹事：22名 委員会：2回

- 1) 土木史に関する調査研究を実施

36-1 幹事会

幹事長 阿部 貴弘

ほかに幹事：14名 委員会：1回、及びメールにて審議

- 1) 委員会の活性化方策についての検討
- 2) 今後の活動方針
- 3) 広報活動の強化策の検討

36-2 広報小委員会

委員長 緒方 英樹 副委員長 鈴木 圭

幹事長 永村 景子 副幹事長 石橋 知也

ほかに常任委員および地域委員：19名 委員会：1回、及びメールにて審議

- 1) 土木史フォーラムの編集
- 2) 土木史研究委員会 HP の更新

36-3 発表小委員会

委員長 田中 尚人 幹事長 原口 征人

ほかに委員：7名 委員会：3回

- 1) 第37回、第38回土木史研究発表会の企画・運営

36-4 東日本大震災特別委員会

委員長 依田 照彦 幹事長 阿部 貴弘

ほかに委員：7名 メールにて審議

- 1) 文化財ドクター派遣事業の報告

36-5 戦後土木施設の歴史・文化的価値に関する調査小委員会

委員長 佐々木 葉 幹事長 阿部 貴弘

ほかに委員：16名 委員会：6回

- 1) 文化庁委託を受け、モデル分野における戦後土木施設の小史取りまとめ、及び評価軸の検討

36-6 戦後名著小委員会

委員長 北河 大次郎

ほかに委員：5名 委員会：4回

- 1) 戦後（1945年以降）の土木関連書籍の調査および選定

36-7 教育・研究推進小委員会

委員長 阿部 貴弘 幹事長 岩本 一将

ほかに委員：5名 委員会：2回

- 1) 土木史に関する教育方法の検討・実施と、土木史に関する研究方法・内容の拡充

37. 建設マネジメント委員会

委員長 木下 誠也 副委員長 松本 直也 永田 尚人

高野 伸栄

幹事長 西畑 賀夫 副幹事長 加藤 佳孝

ほかに顧問：8名 委員：41名 委員会：2回

- 1) 建設に関わる調査・企画・計画・設計、施工、管理・運営、維持・保全、契約等の諸行為ならびに経営の合理化を図るために、マネジメント技術の開発・整備と科学的体系化について調査研究を実施
- 2) 「建設マネジメント問題に関する研究発表・討論会」を開催、同講演集を発行
- 3) 「土木学会論文集F4（建設マネジメント）特集号 Vol. 73 No. 4」を発行
- 4) 「公共調達シンポジウム」、「建設マネジメント委員会 研究成果発表会及び表彰式」、「地域における建設マネジメントシンポジウム」、「ナレッジマネジメントに関するワークショップ」を開催

37-1 運営小委員会

委員長 佐々木 政彦 副委員長 片岡 潔 鈴木 直文

ほかに委員：15名 委員会：2回

- 1) 委員会運営に関する各種の打合せおよび検討
- 2) 建設マネジメント委員会主催行事の企画・運営
- 3) 研究課題についての審議、活動方針および研究活動の支援

37-1-1 インフラ PFI/PPP 研究小委員会

委員長 宮本 和明 副委員長 大島 邦彦 渡会 英明

幹事長 村松 和也

ほかに委員および幹事：33名 委員会：9回

- 1) インフラ関連事業への適切な PFI/PPP 導入のための技術的および制度的課題とその解決策の提案

37-1-2 公共事業における技術力結集に関する研究小委員会

委員長 木下 誠也 副委員長 小澤 一雅 福本 勝司

ほかに委員：29名

- 1) 公共事業における技術力結集に関する研究

37-1-3 原価管理研究小委員会

委員長 曾 我 典 仁 副委員長 小 野 啓 志

ほかに委員：10名 委員会：10回

- 1) 「土木技術者のための原価管理 問題と解説」の改訂作業

37-1-4 地域マネジメント研究小委員会

委員長 春 名 攻 副委員長 谷 澤 亮

ほかに委員：7名

- 1) サステナブルなまちづくりと地域マネジメント方法に関する実証的研究

37-1-5 環境修復事業におけるプログラムマネジメント研究小委員会

委員長 下 池 季 樹 副委員長 三 村 卓

ほかに委員：6名

- 1) 建設・環境系問題事例における安全文化とマネジメントに関する研究

37-1-6 工事進行基準研究小委員会

委員長 山 田 貴 久

ほかに委員：3名

- 1) IFRS 導入後の工事進行基準の適用について調査研究

37-1-7 地方自治体における災害マネジメント研究小委員会

委員長 五 艘 隆 志 幹事長 角 崎 巧

ほかに委員：9名

- 1) 大規模地震津波災害からの早期復興を実現するための具体策を検討

37-1-8 公共デザインへの競争性導入に関する実施ガイドライン研究小委員会

委員長 久保田 善 明 副委員長 安 田 吾 郎

ほかに委員：19名

- 1) 公共デザインへの競争性導入に関する実施ガイドラインの作成・出版
- 2) 「公共デザイン研究セミナー～これからの知的生産と公共調達のあり方を考える～『土木設計競技ガイドライン・同解説+資料集』出版記念」を全国6都市で開催

37-1-9 建設マネジメント力向上研究小委員会

委員長 木 下 賢 司 副委員長 高 野 伸 栄

ほかに委員：17名 委員会：7回

- 1) 建設生産システムとマネジメント力の形成、継承等のあり方に関する研究

37-1-10 北海道における戦略的建設マネジメント研究小委員会

委員長 砂 子 邦 弘 副委員長 倉 内 公 嘉

ほかに委員：25名

- 1) 北海道における戦略的建設マネジメントの研究

37-1-11 実践的CM研究小委員会

委員長 山 本 幸 司 副委員長 安 食 典 彦

ほかに委員：14名 委員会：4回

- 1) 実施されたCM採用事例の課題と対応策のデータ収集、分析、評価

37-1-12 現場問題小委員会

委員長 佐 藤 直 良 副委員長 越 智 繁 雄

ほかに委員：17名

- 1) 現場の見える化システムの開発

37-1-13 持続可能な次世代インフラ事業に関する研究小委員会

委員長 成島 誠一 副委員長 濱中 誠司

ほかに委員：8名 委員会：5回

- 1) 次世代インフラに向けた建設マネジメント手法の課題と今後のあり方についての調査研究

37-1-14 建設産業の生産性とイノベーション調査研究小委員会

委員長 森本 恵美 副委員長 鈴木 信行

ほかに委員：3名 委員会：4回

- 1) 公共事業の生産性測定方法の提案とイノベーション要因の抽出に関する調査研究

37-2 論文集編集小委員会

委員長 金子 雄一郎 副委員長 中川 善典

幹事長 関 健太郎

ほかに委員および幹事：17名 委員会：3回

- 1) 「土木学会論文集 F4 (建設マネジメント) Vol. 74 No. 2 特集号」の編集発刊、および事項の見直し
- 2) 「建設マネジメント問題に関する研究発表・討論会」の企画・運営

37-3 表彰小委員会

委員長 松本 直也 副委員長 中洲 啓太

ほかに委員：7名 委員会：2回

- 1) 表彰候補案件の選考と受賞者への表彰 (H30. 8. 1 研究成果発表会 土木学会講堂)

37-4 国際連携小委員会

委員長 渡邊 法美 副委員長 中洲 啓太

幹事長 五艘 隆志

ほかに委員、顧問：16名

- 1) 「利用者視点 ODA」研究の方針の検討

37-5 契約約款制定小委員会

小委員長 福田 昌史

ほかに委員：19名

- 1) 建設事業 (土木分野) における多様な入札・契約方式に対応した契約約款

37-6 契約約款企画小委員会

委員長 小澤 一雅

ほかに委員：10名

- 1) 契約約款の検討と、契約の種類、作成の範囲、作成・発刊までのプロセス等の企画

37-7 将来ビジョン小委員会

委員長 秀島 喬博

ほかに委員：14名 委員会：1回

- 1) 建設産業に携わる産・官・学の若い世代を中心とした、将来の建設産業に求められる有り様の議論と提案

37-8 建設ケースメソッド普及小委員会

委員長 木下 賢司

ほかに委員：22名 委員会：4回

- 1) 地震・津波等発生時の建設分野の災害対応力に関する、ケースメソッド等の手法による育成方法の検討・提案

37-9 ODA 活用小委員会

委員長 小澤 一雅 副委員長 福本 勝司

ほかに委員、オブザーバー：19名

- 1) 「包括的建設サービス方式の円借款事業への導入に向けた関係者間のリスク分担の検討及び契約図書の提言に関する調査（受託研究）」を実施

37-10 i-Construction 小委員会

委員長 小澤 一 雅

ほかに委員：22 名 委員会：4 回

- 1) 産官学の連携の下、高度情報化技術・システムの開発と活用、建設生産管理プロセスにおける新たなマネジメント体系（手法、しくみ）の開発、その体系に基づいて実際にマネジメントする技術者の役割の明確化と必要な能力開発、等の研究

37-11 i-Construction 小委員会

委員長 木下 誠 也

ほかに委員：18 名

- 1) 公共事業の発注者や公益事業者が技術的課題を抱える事業に対して、どのように対処しているか、その現状をアンケート調査し、実態を把握するとともに、新技術の活用や技術開発が必要な事業に対応した調達方式のあり方を提言

38. コンサルタント委員会

委員長 梶木 洋 子

副委員長 花岡 伸 也

幹事長 今井 敬 一

副幹事長 鈴木 健 嗣

高橋 秀

ほかに委員および幹事：24 名 委員会：2 回

- 1) コンサルティングサービスのあり方、コンサルタントのブランド確立及び社会貢献を醸成するための調査・研究
- 2) 合意形成能力および国際競争力向上の人材育成に関する調査・研究
- 3) 各小委員会活動成果の会員・社会への公開（広報資料、実践論文集及び出版物作成、シンポジウムや研究討論会等の主催）
- 4) 社会・他学協会との協働活動の実施、非学会員との協働活動、ほか

38-1 市民合意形成研究小委員会

委員長 上野 俊 司

副委員長 白水 靖 郎

幹事長 伊藤 将 司

ほかに委員：17 名 委員会：7 回

- 1) 官民が連携した先進的な取組みに関する事例研究、事例集の作成
- 2) 官民連携活動における市民合意形成に関わる研究討論会等の開催
- 3) 合意形成における今日的課題の抽出

38-2 BC（ブランディング・シヴィル）研究小委員会

委員長 藤田 俊 英

- 1) 土木遺産や土木技術者の足跡を巡る観光ウォーキング企画・運営

38-3 市民交流研究小委員会

委員長 黒川 信 子

副委員長 川上 佐 知 清水 陽 子

ほかに委員およびオブザーバー：23 名 委員会：5 回

- 1) くらしに密着した土木学会活動成果の市民への発信
- 2) 市民と土木関係者との相互交流を企画・実施
- 3) 「土木ふれあいフェスタ in 北海道（2018.10.14）」の企画・実施
- 3) 「女子中高生夏の学校 2018」（主催：独立行政法人 国立女性教育会館）のパネル展示で参加
- 4) 「オープンキャンパス土木学会 2018（2018.7.7）」の企画・実施に協力参加

38-4 論文集企画小委員会

委員長 庄 司 泰 敬 副委員長 島 袋 哲
幹事長 市 川 博 一

ほかに委員およびオブザーバー：15名 委員会：4回

- 1) 土木学会論文集 F5（土木技術者実践）の編集・論文募集および査読
- 2) 論文投稿数拡大のための広報活動

38-5 社会インフラメンテナンス検討小委員会

委員長 松 田 寛 志 幹事長 山 手 弘 之

ほかに委員、オブザーバー、事務局：19名

- 1) 「社会インフラメンテナンス工学」の普及および修正編集への対応。

38-6 地方創生特別小委員会

委員長 工 藤 誠 副委員長 玉 岡 秀 敏

ほかに委員、オブザーバー：7名 委員会：4回

- 1) インフラ・空間整備による地方創生の成功事例の収集
- 2) 「第4回地方創生シンポジウム（2019.1.29）」の開催
- 3) 取りまとめおよび成果の展開

39. 安全問題研究委員会

委員長 須 藤 英 明 幹事長 高 橋 弘 樹

ほかに委員：20名 委員会：5回

- 1) 土木工学における安全問題に関する調査・研究を実施
- 2) 「安全工学シンポジウム2018」を共催で開催

39-1 安全問題討論会実行小委員会

委員長 広 兼 道 幸 幹事長 高 橋 弘 樹

ほかに委員：18名 委員会：1回

- 1) 「安全問題討論会」開催のための企画運営
- 2) 土木学会論文集 F6(安全問題)特集号の編集

39-2 安全工学小委員会

委員長 大 嶋 勝 利

ほかに委員：3名

- 1) 「安全工学シンポジウム2018」のOSの実施

39-3 BCP 小委員会

委員長 須 藤 英 明 幹事長 大 嶋 勝 利

ほかに委員：19名

- 1) BCP の実態調査、効果検証
- 2) BCP 作成に関するマニュアル作成（支援方策）

39-4 土木工事の技術的安全性確保・向上検討小委員会

委員長 白 木 渡 幹事長 大 嶋 勝 利

ほかに委員：6名

- 1) 土木工事の技術的安全性確保・向上の方策について検討

40. 応用力学委員会

委員長 牛 島 省 幹事長 佐 藤 太 裕

ほかに副幹事長、委員、地区幹事および幹事：80名 委員会：1回

- 1) 応用力学に関する調査研究を実施
- 2) 「第 21 回応用力学シンポジウム (H30. 05. 19～20 名古屋市)」を主催
- 3) 応用力学講演会「破壊現象はどこまで理解できるようになったか ミクロからマクロへ」(H30. 12. 5 東京都)を開催
- 4) 「応用力学論文賞」、「応用力学論文奨励賞」、「応用力学講演賞」、「応用力学ポスター賞」の表彰
- 5) 「応用力学フォーラム(地区別)」を実施

40-1 幹事会

委員長 牛 島 省 幹事長 佐 藤 太 裕

ほかに委員、幹事、地区幹事：25 名 幹事会：2 回

- 1) 委員会、各小委員会等の運営、活動方針につき審議、検討を実施

40-2 応用力学論文集編集小委員会

委員長 牛 島 省

ほかに委員：17 名 委員会：3 回

- 1) 応用力学論文集 Vol. 21 の論文募集、審査、編集および発刊
- 2) 応用力学論文集 Vol. 22 の論文募集の準備

40-3 応用力学シンポジウム運営小委員会

委員長 富 永 晃 宏 幹事長 佐 藤 太 裕

ほかに委員およびオブザーバー：12 名 委員会：1 回

- 1) 「第 21 回応用力学シンポジウム」の企画・運営
- 2) 「第 22 回応用力学シンポジウム」の準備

40-4 環境・エネルギー・防災の流体力学研究小委員会

委員長 細 田 尚

ほかに委員および幹事：12 名 委員会：メール審議

40-5 計算力学小委員会

委員長 岡 澤 重 信 副委員長 紅 露 一 寛

幹事長 森 口 周 二

ほかに委員および幹事：43 名 委員会：1 回 他メール審議

- 1) 計算力学における考え方・手法をキーワードとして基礎研究および調査
- 2) 土木工学における計算力学の新しい展開を構築
- 3) 計算力学に関する書籍の執筆・編集

40-6 逆問題小委員会

委員長 西 村 伸 一 副委員長 吉 田 郁 政

幹事長 山 本 真 哉

ほかに顧問、委員および幹事：21 名 委員会：2 回

- 1) 逆問題の手法に対する基本的理解を深め普及を図る

40-7 土木分野の数値解析における V&V に関する小委員会

委員長 渦 岡 良 介 副委員長 櫻 井 英 行

ほかに委員、幹事およびオブザーバー：19 名 委員会：メール審議

- 1) 土木分野の材料ごとに必要となる V&V の具体的な実施方法のまとめ
- 2) 数値解析の信頼性向上

41. 地下空間研究委員会

委員長 石 垣 泰 輔 副委員長 松 谷 春 敏

幹事長 酒井喜市郎

ほかに委員会顧問、委員および幹事：52名 委員会：2回 幹事会：2回

- 1) 地下空間に関する調査・研究を実施
- 2) 第24回地下空間シンポジウム（H31.1.25 東京都）および見学会（H31.1.24 都道環状第2号線トンネル部～虎ノ門ヒルズ）を開催
- 3) 夏休み親子見学会：大阪（H30.8.4 阪神電気鉄道梅田駅大規模改良工事）を開催
- 4) 見学会：札幌（H30.8.30 札幌中心部地下空間ネットワーク）を開催

41-1 計画小委員会

委員長 大沢昌玄 副委員長 松谷春敏

ほかに委員および幹事：16名 委員会：3回

- 1) 地下空間に係る計画のあり方を検討することを目的とし、「都市のリノベーションにおける地下空間の果たす役割」、「地下空間計画における防災・減災のあり方」をテーマに研究活動を実施
- 2) 見学会：「東京ミッドタウン日比谷」地下空間－都市再生に貢献する地下空間－（H30.10.31 東京都）を開催

41-2 防災小委員会

委員長 武田誠

ほかに委員および幹事：26名 委員会：4回

- 1) 防災都市づくりにおける地下空間の役割の検討、および地下空間における防災に関する調査研究を実施
- 2) 地下空間の防災・減災セミナー2018（大阪）（H30.12.22 大阪府）を開催

41-3 心理小委員会

委員長 須田武憲 副委員長 三田武

ほかに委員および幹事：26名 委員会：5回

- 1) 心理学の観点から、地下空間における人間の行動について研究し、地下施設への適用を検討
- 2) 第4回人にやさしい地下空間セミナー（H30.4.18 東京都）を開催
- 3) 第5回人にやさしい地下空間セミナー（H30.10.3 東京都）を開催
- 4) 第6回人にやさしい地下空間セミナー（H31.2.14 東京都）を開催

41-4 維持管理小委員会

委員長 木村定雄 副委員長 森山守

ほかに委員および幹事：40名 委員会：4回

- 1) アセットマネジメントの観点に立った地下構造物の維持管理システムに関する調査研究を実施
- 2) 「第6回維持管理セミナー」（H30.7.20 広島県）を開催
- 3) 「第7回維持管理セミナー」（H30.8.24 石川県）を開催
- 4) 「第8回維持管理セミナー」（H30.11.16 福島県）を開催

41-5 シンポジウム表彰委員会

委員長 小山倫史 幹事長 山口晋

ほかに委員および幹事：10名 委員会：1回

- 1) 「第24回地下空間シンポジウム」における論文賞、論文奨励賞、講演優秀賞、講演奨励賞の選考

41-6 シンポジウム実行委員会

委員長 中島高志 副委員長 粕谷太郎

ほかに委員および幹事：19名 委員会：10回

- 1) 「地下空間シンポジウム論文・報告集第24巻」の作成
- 2) 「第24回地下空間シンポジウム」及び「同現場見学会」開催に向けての準備並びに企画、運営

42. 地球環境委員会

委員長 河村明 副委員長 米田稔

幹事長 坪野考樹 副幹事長 島田洋子

ほかに委員会顧問、委員、特別委員、特任幹事および幹事：32名 委員会：3回

- 1) 地球環境問題に関する研究・評価
- 2) 「第26回地球環境シンポジウム（H30.9.5～9.7 長崎大学）」を開催し、『土木学会論文集 G（環境）Vol. 74, No. 5

(地球環境研究論文集第 26 巻)』および『第 26 回地球環境シンポジウム講演集』を編集、作成

- 3) ニュースレター「Earth & Forest」の編集、発行：1 回

42-1 表彰小委員会

委員長 河村 明

ほかに委員：3 名 メールにて審議

- 1) 地球環境委員会賞の選考

42-2 地球環境研究論文集編集小委員会

委員長 河村 明

幹事長 島田 洋子

ほかに委員：28 名

- 1) 土木学会論文集 G (環境) Vol. 74, No. 5 (地球環境研究論文集第 26 巻) の編集、発行 (年 1 回)

42-3 地球環境シンポジウム実行小委員会

委員長 中川 啓

幹事長 利部 慎

ほかに委員およびアドバイザー：12 名

- 1) 地球環境シンポジウム開催に関する企画・運営
2) 一般公開シンポジウムに関する企画・運営

42-4 政策研究小委員会

委員長 荒巻 俊也

幹事長 宮本 善和

ほかに委員：21 名 メールにて審議

- 1) 特別セッションの企画および運営

42-5 シンポジウム論文検討小委員会

委員長 河村 明

幹事長 島田 洋子

ほかに委員：10 名 メールにて審議

- 1) 土木学会論文集 G (環境) 特集号 (地球環境研究論文集) の投稿要領と査読方法の見直し

42-6 気候変動の影響と緩和・適応方策小委員会

委員長 松下 潤

幹事長 豊田 康嗣

ほかに委員および幹事：18 名

- 1) CECAR のセッション設営に関してメールにて審議

43. 景観・デザイン委員会

委員長 斎藤 潮

幹事長 川崎 雅史

ほかに委員および幹事：15 名 委員会：2 回

- 1) 景観・デザインに関する調査研究

43-1 幹事会

幹事長 川崎 雅史

ほかに幹事：6 名 メール審議

- 1) タスクの検討
2) 委員会の活性化方策についての検討

43-2 デザイン賞選考小委員会

委員長 佐々木 葉

ほかに委員・主査・幹事：14 名 委員会：3 回

- 1) デザイン賞の選考
2) デザイン賞授賞式の開催

43-3 景観・デザイン研究編集小委員会

委員長 岡田 一天
副委員長 出村 嘉史、末 祐介
ほかに委員：24名 委員会：5回

1) 第14回景観・デザイン研究発表会の開催

44. 舗装工学委員会

委員長 西澤 辰男 副委員長 関根 悦夫
幹事長 坪川 将丈
ほかに委員および幹事：39名 委員会：2回 幹事会：2回

1) 舗装工学に関する調査研究活動を行う

2) 舗装工学ライブラリーの発刊

44-1 路面性状小委員会

委員長 川村 彰 幹事長 城本 政一
ほかに委員：26名

1) 舗装機能の評価法改訂についての検討

44-2 舗装と環境に関する小委員会

委員長 七五三野 茂 幹事長 岩間 将彦
ほかに委員：18名 委員会：11回

1) 舗装工学ライブラリーの発刊に向けての検討

44-3 舗装工学論文集編集小委員会

委員長 神谷 恵三 幹事長 富山 和也
ほかに委員：11名 委員会：5回

1) 第23回舗装工学講演会を開催

2) 土木学会論文集E1（舗装工学）Vol. 74, No. 3の編集

44-4 企画・運営小委員会

委員長 姫野 賢治 幹事長 坪川 将丈
ほかに委員：17名

44-5 舗装標準示方書改定小委員会

委員長 八谷 好高 幹事長 阿部 長門
ほかに委員：13名 委員会：1回

44-6 舗装材料小委員会

委員長 関根 悦夫 幹事長 川端 伸一郎
ほかに委員：22名 委員会：6回

44-7 国際舗装技術交流小委員会

委員長 姫野 賢治 幹事長 坪川 将丈
ほかに委員：19名 委員会：1回

1) 第8回日中舗装技術ワークショップを開催

44-8 コンクリート舗装小委員会

委員長 西澤 辰男 幹事長 種綿 順一
ほかに委員：38名 委員会：4回

44-9 寒冷地舗装小委員会

委員長 亀山 修一 幹事長 丸山 記美雄
ほかに委員：22名 委員会：2回

44-10 歩行者系舗装小委員会

委員長 國井 洋一 幹事長 青木 政樹

ほかに委員：10名 委員会：1回

- 1) 弾力性評価、すべり抵抗性評価、平坦性評価、総合評価の4分科会を設置し、活動

44-11 水工アスファルト小委員会

委員長 笠原 篤 幹事長 島崎 勝

ほかに委員：19名

- 2) 舗装工学ライブラリーの発刊に向けての検討

44-12 舗装マネジメント小委員会

委員長 七五三野 茂 幹事長 井原 務

ほかに委員：24名 委員会：15回

- 1) 舗装工学ライブラリーの発刊に向けての検討

44-13 ブロック系舗装小委員会

委員長 竹内 康 幹事長 常松 直志

ほかに委員：21名 委員会：1回

- 1) 舗装工学ライブラリーの発刊に向けての検討

45. 複合構造委員会

委員長 西崎 到 副委員長 下村 匠

幹事長 溝江 慶久

ほかに顧問、委員および委員兼幹事：62名 委員会：2回 幹事会：6回

- 1) 複合構造工学に関する諸課題の調査、研究
- 2) 設計・施工・維持管理に関する指針・基準等の作成と更新
- 3) 国内外の複合構造の学協会関係機関との研究連携と情報収集・発信
- 4) 「第2回若手技術者のための温故知新セミナー～鋼とコンクリート～」(H30.8.21 東京都)の開催

45-1 シンポジウム小委員会

委員長 松本 高志 幹事長 大久保 宣人

ほかに委員：11名 委員会：4回

- 1) 第7回 FRP 複合構造・橋梁に関するシンポジウムの準備と運営
- 2) 建築学会との連携

45-2 国際連携小委員会

委員長 奥井 義昭 幹事長 長井 宏平

ほかに委員：3名 メールにて審議

- 1) 海外の学協会等との最新の研究、技術開発等の意見交換や交流・連携

45-3 選挙管理小委員会

委員長 溝江 慶久

ほかに委員：2名

- 1) 委員長選挙の準備と実施

45-4 学会賞推薦選考小委員会

委員長 奥井 義昭

ほかに委員：14名 メールにて審議

- 1) 土木学会各賞等の候補選考と推薦

45-5 土木学会論文集特集号編集小委員会

委員長 奥井 義昭 幹事長 橋本 国太郎

ほかに委員および幹事：8名 委員会：2回

- 1) 土木学会論文集特集号掲載に向けた編集活動

45-6 複合構造の継続教育小委員会

委員長 中村 一史 幹事長 溝江 慶久

ほかに委員および幹事：8名

- 1) セミナー、e-ラーニングの企画・運営

45-7-1 複合構造標準示方書小委員会

委員長 渡辺 忠朋 幹事長 齊藤 成彦

ほかに委員および幹事：31名 委員会：2回 部会・WG：18回

- 1) 設計編部会、施工編部会、維持管理編部会、FRP部会の4つの部会を設置し、技術的検討課題の抽出と検討する

45-7-2 複合構造の基礎に関する書籍作成小委員会

委員長 大山 理 幹事長 葛西 昭

ほかに委員および幹事：4名 メールによる審議

- 1) 「基礎からわかる複合構造—理論と設計—（2017年版）」（英訳版）の作成

45-7-3 FRPによる構造物の補修・補強指針作成小委員会

委員長 大垣 賀津雄 副委員長 佐藤 靖彦

幹事長 小林 朗

ほかに委員及び幹事：23名 委員会：1回 幹事会：1回

- 1) FRPの材料特性、FRPと鋼およびコンクリートとの接合強度を評価し、補強部材の力学的性能や耐久性について精度よく予測できる設計手法の提示
- 2) 研究成果を複合構造シリーズ「FRPによる構造物の補修・補強指針（仮称）」として発刊
- 3) 「FRP接着による構造物の補修・補強指針（案）」講習会（H30.7.31 東京都、H30.12.6 大阪府）を開催

45-7-4 グリーンインフラとグレーインフラの融合に関する研究小委員会

委員長 西崎 到 副委員長 下村 匠

幹事長 溝江 慶久

ほかに委員及び幹事：17名 委員会：3回 幹事会：3回

- 1) グリーンインフラとグレーインフラの協働事例の分析
- 2) グリーンインフラとグレーインフラの新たな協働に関する検討
- 3) グレーインフラへのグリーンインフラの取入れに関する検討
- 4) 重点研究課題「グリーンインフラとグレーインフラの融合に関する研究」を実施

45-7-5 複合構造物の疲労照査法に関する調査研究小委員会

委員長 岡本 大 幹事長 判治 剛

ほかに委員および幹事：9名 委員会：4回

- 1) 鋼コンクリート複合構造物の合理的な疲労照査法を確立するために必要となる検討事項や関連する既往の知見について検討を行う。

45-7-6 構造物の更新・改築技術に関する研究小委員会

委員長 葛西 昭 幹事長 滝本 和志

ほかに委員：24名 メールにて審議

- 1) 「構造物の更新・改築—プロセスの紐解き—」講習会（H30.5.25 岩手県）の開催

45-7-8 維持管理を考慮した複合構造の防水・排水に関する調査研究小委員会

委員長 大西弘志 幹事長 谷口望

ほかに委員および幹事：20名 委員会：3回

- 1) 防水・排水技術における維持管理（更新）についての現状調査
- 2) 更新を含めた防水・排水デバイスの性能評価手法の検討
- 3) トリプルコンタクトポイントにおける防水システム性能評価手法の構築

45-7-8 複合構造におけるコンクリートの収縮・クリープの影響に関する研究委員会

委員長 下村匠 幹事長 千々和伸浩

ほかに委員：18名 委員会：5回

- 1) 複合構造におけるコンクリートの収縮、クリープの影響について、構造的な観点から、構造物の変形・応力解析手法について検討し、複合構造における諸課題の解決に向けて取り組む。
- 2) 「複合構造におけるコンクリートの収縮・クリープの影響に関する最新動向」講習会（H31.1.22 東京都）の開催

45-7-10 複合構造物の構造検査と性能評価に関する研究小委員会

委員長 渡辺忠朋 幹事長 松本高志

ほかに委員および幹事：32名 委員会：3回

- 1) 既存構造物の劣化状態が構造性能に及ぼす影響を可能なかぎり定量化することを目的に調査研究を行う。

45-7-11 コンクリート充填鋼管部材の活用に関する調査研究小委員会

委員長 鬼頭宏明 幹事長 三浦芳雄

ほかに委員および幹事：24名 委員会：3回

- 1) コンクリート充填鋼管（CFT）部材について、施工例と施工時に適用された各種設計法の整理・分析、既往の施工例の現状把握と維持管理手法の調査・分析、新たな活用方法の検討を行う。

45-7-12 FRP 複合構造の設計・維持管理に関する調査研究小委員会

委員長 西崎到 幹事長 橋本国太郎

ほかに委員および幹事：34名 委員会：3回

- 1) 他分野の研究成果からの土木分野とは条件の異なる引用データを FRP 複合構造へ適用する場合の妥当性の検証、FRP 構造物・部材の力学的な評価方法（試験方法）の調査と開発
- 2) 2014 年制定複合構造標準示方書による FRP 複合構造の試設計とその妥当性、および FEM を利用した設計方法の検討、新しい FRP 構造物の試設計とその製作・製造方法の調査。
- 3) 土木構造用 FRP の劣化・点検・診断・補修方法の調査

45-7-13 床版取替における既設合成桁橋の設計・施工技術に関する研究小委員会

委員長 大垣賀津雄 幹事長 大久保宣人

ほかに委員および幹事：28名 委員会：2回

- 1) 合成桁における取替床版の接合法の検討
- 2) 主桁の補強に関する設計・施工法の検討

46. 木材工学委員会

委員長 吉田雅穂 副委員長 佐々木貴信

幹事長 沼田淳紀

ほかに委員、幹事、オブザーバー：25名 委員会：4回

- 1) 日本森林学会および日本木材学会との横断的調査研究事業の実施
- 2) 研究開発活性化交流のための第 17 回木材利用研究発表会、および、全国大会における部門セッションの主催
- 3) 全国大会における研究討論会的主催
- 4) 各地方における木材利用研究会および他学会委員会との連携研究の対応・推進

46-1 CO2 収支評価研究小委員会

委員長 村野 昭 人

ほかに委員：7名 委員会：メール審議

- 1) 土木における木材利用に関する規制及び規準類の調査
- 2) 木材利用した場合のCO₂削減効果および貯蔵効果の検討

46-2 木橋研究小委員会

委員長 佐々木 貴信 幹事長 荒木 昇 吾

ほかに委員、幹事：24名 委員会：3回、他にメールにて審議

- 1) 木橋の維持管理に関する調査研究
- 2) 木橋の設計事例や維持管理の事例集のとりまとめ
- 3) CLT床版を用いた橋梁補修工法に関する研究

46-3 論文集編集小委員会

委員長 原 忠 幹事長 平沢 秀之

ほかに委員：11名 委員会：3回、他にメールにて審議

- 1) 第17回木材利用研究発表会の実施
- 2) 木材利用研究論文報告集17の発行
- 3) 第18回木材利用研究発表会の準備
- 4) 木材利用研究論文報告集への査読部門導入の検討

46-4 木製治山・治水構造物の耐久性評価に関する研究小委員会

委員長 野田 龍

ほかに委員、幹事、オブザーバー：15名 委員会：1回、他にメールにて審議

- 1) 木製治山構造物の技術指針の策定
- 2) 全国的な木製治山治水施設の腐朽度実態調査方法の検討

46-5 広報小委員会

委員長 池田 穰 副委員長 三村 佳織

幹事長 末次 大輔

ほかに委員およびオブザーバー：9名 委員会：5回

- 1) 「木材工学入門」の増刷検討
- 2) 木材工学出前講座の検討
- 3) 土木用木材のPR（ウッドデザイン賞のサポート、土木学会選奨土木遺産応募）
- 4) 木材工学委員会公開資料のアーカイブ化

46-6 地中使用木材の耐久性評価に関する研究小委員会

委員長 末次 大輔 幹事長 水谷 羊介

ほかに委員、オブザーバー：24名 委員会：5回

- 1) 地中使用木材の健全性を評価するための方法論やマニュアル類の整備
- 2) ピロディンナー試験の継続と評価、新規健全性評価試験方法の検討・立案、各種学会への投稿
- 3) 地中使用木材の維持管理に関する検討、既存構造物の事例収集と健全性評価法の提案
- 4) 地中使用木材に関する事例収集、木杭等、土木・建築構造物に使用された木材に関する文献等調査と整理
- 5) 地中使用木材に関連した見学会の実施、小委員会主催によるシンポジウム等の企画

46-7 木製建設資材に関する研究小委員会

委員長 木村 礼夫

ほかに委員、幹事、オブザーバー：20名 委員会：5回

- 1) 木製建設資材の調査・研究

- 2) 土木（非住宅）部門での木材利用状況に関する調査
- 3) 自治体を対象に実施したアンケート調査の中間報告の公開
- 4) 型枠合板メーカーへのヒアリング，工場見学
- 5) シンポジウムの企画

47. 土木学会論文集編集委員会

委員長	奥村 誠	副委員長	佐藤 靖彦
幹事長	高橋 章浩	副幹事長	内田 龍彦
A1 分冊委員長	中島 章典	A2 分冊委員長	東平 光生
B1・B2・B3 分冊合同委員長	泉 典洋	C 分冊委員長	大塚 悟
D1 分冊委員長	石井 信行	D2 分冊委員長	田中 尚人
D3 分冊委員長	高橋 清	E1 分冊委員長	神谷 恵三
E2 分冊委員長	横田 弘	F1 分冊委員長	芥川 真一
F2 分冊委員長	小山 倫史	F3 分冊委員長	菊池 喜昭
F4 分冊委員長	堀田 昌英	F5 分冊委員長	荘司 泰敬
F6 分冊委員長	岩原 廣彦	G 分冊委員長	米田 稔
H 分冊委員長	神谷 大介		

ほかに幹事長：17 名 副委員長：1 名 委員：122 名 委員兼幹事：3 名 幹事：6 名
編集調整会議：4 回 同拡大幹事会：4 回 各分冊編集小委員会：37 回，その他メール審議

- 1) 土木学会論文集 A1～H Vol. 74(2018 年 4 月～2018 年 12 月)と Vol. 75(2019 年 1 月～2019 年 3 月)の通常号、ならびに 2013 年 1 月より発刊した土木学会英文論文集 (Journal of JSCE) Vol. 6(2018 年 4 月～2018 年 12 月)と Vol. 7(2019 年 1 月～2019 年 3 月)を編集し、オンラインジャーナル(J-STAGE)にて発行・公開。また、特集号についても掲載のための編集作業が可能となったものを発行・公開した。
- 2) 土木学会論文集 A1～H Vol. 74(2018 年)の掲載件数は 211 件、2,709 頁。土木学会英文論文集 (Journal of JSCE) Vol. 6(2018 年)の掲載件数は 13 件、166 頁。さらに、特集号については、年間 15 タイトルを掲載し、Vol. 73(2017 年)の掲載件数は 1,302 件。

【出版部門】

48. 出版委員会

委員長 嶋 多 善 多 幹事長 坂 卷 広 治

ほかに委員および幹事：23 名 委員会：6 回 幹事会：7 回 ヒアリング調査：1 回

- 1) 土木学会出版物および監修刊行物の管理。
- 2) 創立 100 周年記念出版物および東日本大震災合同調査報告の管理。
- 3) 2018 年度中に刊行した主な出版物は別表のとおり

48-1 土木製図基準改訂小委員会

委員長 大 倉 一 郎 副委員長 松 本 修 一

幹事長 荒 川 昭 治

ほかに 委員兼幹事：1 名 部門担当幹事：6 名 委員：12 名

委員会：開催せず

- 1) 「土木製図基準 2009 年改訂版」のアフターケア

48-2 測量実習指導書編集小委員会

委員長 大 林 成 行

ほかに 委員：6 名 委員会：開催せず

- 1) 「測量実習指導書 2007 年版」のアフターケア

【情報資料部門】

49. 土木図書館委員会

委員長 小野田 滋 幹事長 今 尚 之

ほかに委員：14 名 委員会：1 回 支援ツール電子会議室による審議，メール審議

- 1) 科学研究費助成事業（科研費）の経過報告と次年度申請に向けての検討
- 2) 図書館活動の広報の検討、学会誌への広告掲載の実施
- 3) 東日本大震災アーカイブサイトの継続運用（2011. 12 運用開始）
- 4) オンライン土木博物館（ドボ博）の新企画展示、トップページリニューアルの実施
- 5) 土木デジタルアーカイブス・図面資料研究などの検討・支援
- 6) 図書館の将来像検討

49-1 情報検索支援システム研究小委員会

委員長 野 末 道 子

ほかに委員：7 名 委員会：1 回 メール審議

- 1) 東日本大震災アーカイブサイト（GIS 表示システム等）の継続運用
- 2) 図書館情報検索システムの利活用検討
- 3) 他の図書館検索システムとの連携機能の検討

49-2 図面資料研究小委員会

委員長 藤 澤 泰 雄

ほかに委員：29 名 HP オブザーバー4 名 委員会：0 回 メール審議，現地調査 1 回

- 1) 外部機関で保有するデジタル化対象図面の調査
- 2) デジタル化の対象範囲の調査・検討
- 3) 外部資金獲得（科研費 580 万円）に基づく、図面の調査及びデジタル化作業

49-3 選書小委員会

委員長 五 十 畑 弘

ほかに委員：2 名 メール審議

- 1) 選書の検討

49-4 近代資料収集小委員会

委員長 松 浦 茂 樹

ほかに委員：8 名 メール審議

- 1) 資料収集計画の検討

49-5 図書館連携小委員会

委員長 江 口 知 秀

ほかに委員：9 名 オブザーバー：15 名 メール審議

- 1) 専門図書館間連携についての検討

49-6 ドボ博小委員会

委員長 北 河 大次郎 幹事長 尾 崎 信

ほかに委員：12 名 委員会：10 回、メール審議

- 1) オンライン土木博物館「ドボ博」のトップページリニューアル
- 2) 第 2 回企画展「四国インフラ解剖」の実施
- 3) 「東京インフラ解剖」の英訳版の実施

- 4) 土木学会 100 周年記念特別展示「土木と文明」のオンライン化
- 5) 街あるきイベント「都心の鉄道トライアングル地帯を歩く」の実施

50. 土木技術映像委員会

委員長 大野 春雄 副委員長 相場 淳司
副委員長 高橋 広行 副委員長 姫野 賢治
幹事長 梶山 清人 副幹事長 瀧川 正一

ほかに委員・委員兼幹事：26 名 顧問：5 名

委員会：6 回 幹事会：1 回 選定審査会：2 回 支援ツール電子会議室による審議，メール審議

- 1) 映画会（イブニングシアター、全国大会映画会）の開催
- 2) 「土木学会選定映画」応募作品の審査
- 3) 全国大会研究討論会の開催
- 4) 映像作品の教育場面等への活用検討
- 5) 土木貴重映像の発掘・調査
- 6) 東日本大震災アーカイブサイトの運用サポート

50-1 映像作品選定小委員会

委員長 上岡 弘和

ほかに委員：10 名 小委員会：2 回

- 1) 「選定審査会」の運営
- 2) イブニングシアターの企画・運営
- 3) 土木貴重映像の評価方法に関する検討

50-2 映像アーカイブス小委員会

委員長 高橋 宏行

ほかに委員：7 名 小委員会：1 回 メール審議

- 1) 選定映像作品 DB の仕様検討
- 2) 土木図書館における映像作品所蔵状況の確認

50-3 映像資料調査小委員会

委員長 渋沢 重彦

ほかに委員：7 名 小委員会：1 回 メール審議

- 1) 貴重映像の発掘調査活動の実施と手法の検討
- 2) 福井地震、鳥取地震映像をはじめとする貴重映像発掘に関する検討・調査

50-4 地下鉄銀座線建設映画制作小委員会

委員長 大野 春雄 副委員長 平野 隆

ほかに委員：8 名 小委員会：7 回 メール審議

- 1) 東京地下鉄からの委託業務「銀座線建設記録映画制作業務」の実施

【総務部門】

51. 表彰委員会

委員長 小林 潔司 副委員長 氏家 勲
功績賞主査 須野 原豊 技術賞主査 上田 多門

ほかに委員、評点会議委員、幹事およびオブザーバー：30 名

方針策定会議：1 回 委員会：2 回 主査幹事会：2 回 技術賞候補内容説明会：1 回

- 1) 功績賞、技術賞受賞候補の選考

2) 土木学会賞受賞候補の決定

51-1 環境賞選考委員会

委員長 堀 智 晴 副委員長 大 島 昭 彦
幹 事 長 大 野 剛
ほかに委員および幹事：28 名
委員会：3 回 幹事会：4 回

1) 環境賞候補の選考方針の決定

51-2 論文賞選考委員会

委員長 奥 村 誠 副委員長 勝 地 弘
幹 事 長 原 本 英 司
第Ⅰ部門主査 村 越 潤 第Ⅱ部門主査 佐々木 淳
第Ⅲ部門主査 石 川 達 也 第Ⅳ部門主査 森 川 高 行
第Ⅴ部門主査 小 林 孝 一 第Ⅵ部門主査 菊 池 喜 昭
第Ⅶ部門主査 伊 藤 禎 彦 第Ⅷ部門主査 伊 津 野 和 行
ほかに副主査、委員および幹事：49 名
委員会：2 回 主査・幹事会：3 回 幹事会：1 回

1) 研究業績賞、論文賞および論文奨励賞候補の選考

51-3 吉田賞選考委員会

委員長 二 羽 淳 一 郎 副委員長 前 川 宏 一
幹 事 長 石 田 哲 也
ほかに委員および幹事：23 名 委員会：3 回 小委員会：1 回 幹事会：3 回

1) 吉田賞候補および吉田研究奨励賞受賞候補者の選考

51-4 田中賞選考委員会

委員長 前 川 宏 一 副委員長 木 村 嘉 富
幹 事 長 阿 部 雅 人
ほかに委員および幹事：23 名
委員会：3 回 幹事会：3 回

1) 田中賞（業績・論文・作品の3部門）候補の選考

51-5 技術開発賞選考委員会

委員長 水 口 和 之 副委員長 神 田 政 幸
幹 事 長 金 田 和 男
ほかに委員および幹事：19 名
委員会：3 回 幹事会：3 回

1) 技術開発賞候補の選考

51-6 出版文化賞選考委員会

委員長 佐々木 葉 副委員長 坂 下 克 之
ほかに委員：10 名 委員会：4 回

1) 出版文化賞候補の選考

51-7 国際貢献賞選考委員会

委員長 藤 野 陽 三 副委員長 菊 川 滋
ほかに委員および幹事：13 名 委員会：3 回 幹事会：2 回

1) 国際貢献賞、国際活動奨励賞および国際活動協力賞候補の選考

51-8 技術功労賞選考委員会

委員長 杉山 太宏 副委員長 峯岸 邦夫 栃折 宣彦

ほかに委員および幹事：22名 委員会：3回 幹事会：4回

1) 技術功労賞候補の選考

52. 映画コンクール審査委員会

委員長 小林 潔司 副委員長 大野 春雄

ほかに委員：9名 幹事8名

1) 映画コンクール各賞の選考

53. 土木学会選奨土木遺産選考委員会

委員長 天野 光一 幹事長 阿部 貴弘

ほかに委員、支部委員および幹事：10名 委員会：1回

1) 『土木学会選奨土木遺産』の選考

54. 役員候補者選考委員会

委員長 遠藤 元一

ほかに委員：100名

54-1 基本方針等策定部会

部会長 遠藤 元一

幹事 栗原 哲彦 吉岡 大藏 加藤 和藏

ほかに部会員：17名 オブザーバ：8名 部会：1回

1) 土木学会役員候補者の選考

55. 名誉会員候補者選考委員会

委員長 氏家 勲

ほかに委員：5名 オブザーバ：3名

1) 名誉会員候補者の選考

56. 定款委員会

56-1 規則等検討部会

57. 倫理・社会規範委員会

委員長 小林 潔司 幹事長 丸山 信

ほかに委員、幹事およびオブザーバー：20名

1) 小委員会およびWG活動全体の総括

57-1 企画運営小委員会

委員長 丸山 信 幹事長 柴田 尚規

ほかに委員、幹事およびオブザーバー：9名

1) 倫理規定の改定のサポート

2) 他の学協会等の実践・検討状況の把握

57-2 教育小委員会

委員長 秀島 栄三 幹事長 本多 伸弘

ほかに委員、幹事：9名

1) 倫理問題の実態調査

2) 技術者倫理教育の教材開発

3) 講師派遣と倫理教育の人材育成

58. 全国大会委員会

委員長 濱田 秀 則 幹事長 三 倉 寛 明

ほかに委員および幹事：25名 委員会：1回 拡大幹事会：2回

- 1) 全国大会に関する検討

58-1 企画小委員会

- 1) 全国大会のあり方検討
- 2) 広報活動

58-2 運営小委員会

幹事会：3回

- 1) 全国大会の実務運営に代わる検討
- 2) 収支構造の検討

58-3 学術小委員会

幹事会：4回

- 1) 年次学術講演会の実施に関する事項

【会員・支部部門】

59. フェロー審査委員会

委員長 高 山 純 一

ほかに委員：10名 委員会：メール審議 5回

- 1) フェロー会員申請者の審査を行い、候補者を選考した。

【技術推進機構】

60. 継続教育実施委員会

委員長 竹 村 次 朗 幹事長 尾 高 義 夫

ほかに委員および幹事：9名 委員会：4回

- 1) 継続教育制度の基本事業（継続教育のあり方など）の審議
- 2) 継続教育（CPD）ガイドブックの改訂
- 3) e-ラーニング導入、CPD 記録・登録システム改訂の検討
- 4) 土木技術者の継続教育に関するミニシンポジウムの開催（2回）
- 5) 土木学会誌 2019 年 4 月号特集「これからの時代の土木技術者の「学び」を考える」企画・製作
- 6) 「建設系 CPD 協議会」に関する活動

60-1 継続教育制度小委員会

委員長 尾 高 義 夫

ほかに委員および幹事：9名 委員会：5回

- 1) 継続教育制度の課題の確認、改善の検討、制度見直し案の策定
- 2) 教育形態の見直しの実施

60-2 e-ラーニング運営小委員会

委員長 鷲 見 浩 一

ほかに委員および幹事：8名 委員会：4回

- 1) e-ラーニング試行、結果の確認
- 2) e-ラーニング本運用に向けた検討

61. 土木学会土木技術者資格委員会

委員長 風 間 基 樹

幹事長 信 田 佳 延

ほかに委員：9名 幹事：4名 委員会：4回 幹事会1回

- 1) 技術者資格審査の基本事項（受験・登録要件など）の審議
- 2) 特別上級土木技術者、上級土木技術者、1級土木技術者及び2級土木技術者資格審査の可否判定に関する審議
- 3) 資格制度の運営に関する課題の検討
- 4) 国土交通省民間資格公募への対応の検討・実施

61-1 特別上級土木技術者資格小委員会

委員長 小池 剛 幹事長 三島 徹也

ほかに委員：9名 幹事：11名 委員会：1回 審査会：1回

- 1) 特別上級土木技術者資格審査の実施要領、審査方法等の検討、審議
- 2) 特別上級土木技術者資格審査（口頭試問）の実施

61-2 上級土木技術者資格小委員会

委員長 菊池 喜昭 幹事長 牛島 栄

ほかに委員：22名 幹事：23名 委員会：7回 審査会：1回

- 1) 上級土木技術者資格審査の実施要領等の検討、審議
- 2) 上級土木技術者資格（コースA）審査（筆記試験、口頭試問）の実施
- 3) 上級土木技術者資格（コースB）審査（審査会、口頭試問）の実施

61-3 1級土木技術者資格小委員会

委員長 白旗 弘実 幹事長 渡部 要一

ほかに委員：22名 幹事：22名 委員会：6回 審査会：1回

- 1) 1級土木技術者資格審査の実施要領等の検討、審議
- 2) 1級土木技術者資格（コースA）審査（筆記試験）の実施
- 3) 1級土木技術者資格（コースB）審査（審査会、口頭試問）の実施

61-4 2級土木技術者資格小委員会

委員長 関根 正人 幹事長 日比野 誠

ほかに委員：6名 委員会：3回

- 1) 2級土木技術者資格審査の実施要領等の検討、審議
- 2) 土木技術検定試験の実施

62. 技術評価制度検討委員会

委員長 齋 朝夫

ほかに委員：14名

- 1) 技術評価依頼受注の可否の審議
- 2) 評価対象技術の技術評価結果の審議

62-1 回転圧入鋼管杭（NS エスパイル）の設計施工法技術評価委員会（更新）

委員長 濱田 政則

ほかに委員：5名 委員会：1回 打合せ会：1回

- 1) 当該技術（更新）に関する審議

62-2 表面工にプレキャストコンクリート板を用いた地山補強土工法（PAN WALL 工法）技術評価委員会（更新）

委員長 濱田 政則

ほかに委員：4名 委員会：1回

- 1) 当該技術（更新）に関する審議

62-3 羽根付き鋼管ソイルセメント杭（ATT コラム）工法技術評価委員会（更新）

委員長 濱田 政則

ほかに委員：5名 委員会：1回

- 1) 当該技術（更新）に関する審議

62-4 断層変位が作用する地下構造物の連成三次元非線形 FEM 解析による応答算定と評価(数値解析認証)

技術評価委員会（受注）

委員長 内田 祐市

ほかに委員：3名 委員会：1回

- 1) 当該技術（数値解析認証）に関する審議

63. ISO 対応特別委員会

委員長 横田 弘

副委員長 杉山 俊幸

幹事長 木幡 行宏

ほかに委員兼幹事：9名 委員：35名 顧問：2名 委員会：1回

- 1) 土木関連分野の国内審議団体との連絡・調整および全般的立場からの意見提出
- 2) 土木関連分野の ISO および CEN に関する情報収集、管理および提供
- 3) その他 ISO に関する活動（ISO ジャーナル発刊）

63-1 情報収集小委員会

委員長 石田 哲也

ほかに委員：4名 メールにて審議

- 1) 土木 ISO ジャーナルの発行
- 2) 土木関連 ISO 規格のモニタリング
- 3) ISO 規格関連情報の収集

64. 実践的 ITS 研究委員会（受注）

委員長 清水 哲夫

副委員長： 小早川 悟

委員会：1回

- 1) 「地域づくりに資するITS等の活用に関する研究」（受注）
- 2) 受託研究を通じたITS人脈ネットワーク構築のための地方意見交換会の開催（4回）

65. 技術者教育プログラム審査委員会（受注）

委員長 米田 稔

副委員長 水谷 法美

幹事長 宮島 昌克

副幹事長 湯谷 賢太郎

ほかに顧問10名 委員兼幹事：13名 委員会：6回 審査長会議（委員会と合同）：2回

日本技術者教育認定機構（JABEE）の活動に対応し、次の活動を実施

- 1) 「土木及び関連の工学分野」の教育プログラムに対する分野別審査実施と JABEE への結果報告
- 2) 「工学（複合融合・新領域）及び関連のエンジニアリング分野」の教育プログラムに対する分野別審査への協力
- 3) JABEE による教育プログラム認定・審査のための受審校研修会（2018.5.12：東京都）の開催
- 4) 審査員候補者養成のための審査講習会（2018.5.12：東京都）の実施
- 5) JABEE フェローの推薦

66. アセットマネジメントシステム実装のための実践研究委員会（受注）

委員長 小澤 一雅

ほかに委員：12名 協力委員：5名 委員会：6回 自治体支援事業打合せ：9回

地方公共団体のための意見交換会：1回 成果報告会：1回

- 1) 公募により選定した4自治体に対するアセットマネジメントシステムの実装
- 2) アセットマネジメントシステムの実践モデル事業の評価

- 3) 自治体意見交換会、最終成果報告会の開催

67. SIPインフラ連携委員会

委員長 田 崎 忠 行

ほかに委員：17名 委員兼幹事：8名

委員会：4回 幹事会：2回

技術交流会：1回 シンポジウム：1回 セミナー：1回 成果報告会：2回

- 1) 内閣府総合科学技術・イノベーション会議 戦略的イノベーション創造プログラム（SIP）の普及・拡大
- 2) 技術基準・技術標準の作成
- 3) 国際展開連携
- 4) 道路アセットマネジメントに関する JICA との覚書の締結

67-1 報告検討部会

主 査 田 崎 忠 行

ほかに委員：9名 副主査：2名 委員会：1回

- 1) SIP 総括と今後の方向性に関する報告

67-2 AI 適用検討部会

主 査 矢 吹 信 喜

ほかに委員：5名 副主査：2名

- 1) インフラ構造物の維持管理に対する AI 適用のための調査研究

67-3 新技術の地域実装促進小委員会

委員長 六 郷 恵 哲

ほかに委員：15名 副委員長：3名 委員兼幹事：7名 委員会：1回

- 1) SIP インフラ地域実装活動報告書の作成
- 2) 橋梁点検における新技術適用指針(案)作成に向けた検討

67-4 国際展開小委員会

委員長 長 井 宏 平

ほかに委員：5名 委員兼幹事：1名

- 1) 新技術の国際展開に向けた検討